

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科名 ファッション高度専門士科1年	単位 19単位
科目コード 000211	科目名 服装造形 I	授業期間 前期・後期
担当教員(代表) : 朝生 麻沙美		共同担当者 : 喜屋武 敏明

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション業界をグローバルな視点からみつめる4年間のコース。アパレル各分野の発展を担うリーダーとなる人材の育成を目的としている。

1年次では、アパレル全般を理解するため総合的に学び、レディスを中心とした服飾全般の基礎知識と技術を習得する為に、縫製技術の基礎から綿素材のスカート、ブラウス、パンツ、裏付きのウール素材のスカート、ジャケット、ワンピースを作成する。

【授業計画】

服装造形 論 IA・B	前期 2単位 後期 2単位 000211、000212
服装造形 デザインIA・B	前期 2単位 後期 2単位 000311、000312
服装造形 パターンメーキングIA・B	前期 1単位 後期 1単位 000511、000512
服装造形 ソーイングIA・B	前期 4単位 後期 5単位 000611、000612

1、基礎Ⅰ・基礎Ⅱ 18コマ(前期)	一般知識・縫合の基礎(部分縫い)・作図の基礎
2、体型研究 15コマ(前期)	トワル制作・試着補正・レポート
3、スカートⅠ 20コマ(前期)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
4、ブラウス 35コマ(前期)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
5、バザー作品 15コマ(前期・後期)	文化祭バザー作品・グループ製作
6、スカートⅡ 27コマ(後期)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
7、ジャケット 70コマ(後期)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
8、ワンピースドレス64コマ(後期)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
9、パンツ 18コマ(後期)	デザイン・パターン・実物制作
10、ドレーピング基礎 8コマ(後期)	準備(目標線の入れ方)

【評価方法】S, A, B, C評価

- ・服装造形論・・・筆記試験 100% ・・・パターンメーキング・・・レポート・提出物 80% 出欠席 20%
- ・デザイン、ソーイング・・・製作物 80% 出欠席 20%

主要教材図書 服飾造形講座 (服飾造形の基礎、スカート・パンツ、ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、メンズウェアI、アパレル生産講座、立体裁断、基礎) 装苑

参考図書 服飾造形講座 (服飾造形の基礎、スカート・パンツ、ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、メンズウェアI、アパレル生産講座、立体裁断、基礎) 装苑

その他資料 科作成のプリント

記載者氏名 朝生 麻沙美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科 名 ファッション高度専門士科1年	単 位 1単位
科目コード 005600	科目名 量産技術概論・実習	授業期間 通年(集中)

担当教員(代表) : 井戸川 優也	共同担当者 : 成田 邦子、佐藤 明彦、加藤 紀人
-------------------	---------------------------

概要(教育目標・レベル設定など 200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アパレル製品の生産について、関心を持たせる事を目的とする。

前期は、量産的手法に基づいたシャツの縫製実習を短期集中で行い、工業用ミシン、アイロンを主とした生産機器の安全な使用方法の基礎を習得する。

後期は講義において、実習での作業内容と通常授業における一品作りとの違いについて認識させる。

授業概要

I. 縫製準備 <1回>

- ① 延反・裁断・芯貼り・仕分けの準備工程作業体験

II. 基礎練習 <2回>

- ② 実習で使用する基本的な生産機器について説明を受け、操作の練習・部分縫いを実習

III. シャツの縫製実習 <7回>

- ① シャツの生産指示書と範囲説明に基づき、丸縫いでシャツの生産実習
- ② 機器の使用に慣れ、縫製作業のプロセスを体験

IV. アパレル産業の生産プロセス<2回>

- ① アパレルにおける仕事の流れについて講義

V. 特殊機器見学 <1回>

- ① 工業生産機器の名称や役割について理解を深める

評価方法・対象・比重

出席、提出物によるP評価

主要教材図書

「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」

参考図書

なし

その他資料

「シャツ生産指示書」

記載者氏名 井戸川 優也

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051 科名 ファッション高度専門士科 1年	単位	2単位
科目コード 950011、科目名 自由研究 IA IB 950012		授業期間 前期・後期

担当教員(代表)：朝生 麻沙美

共同担当者：喜屋武 敏明

【授業概要、到達目標・レベル設定】

前期・後期の学習内容をふまえて応用、発展させる。自由にテーマを決めて作品を制作し、プレゼンテーションをする。

【授業計画】

自由研究1A 前期アイテムのブラウスの応用としてテーマ、コンセプトを決めシャツブラウスを制作し、プレゼンテーションをする。…実物制作、レポート

自由研究1B 1年間の総まとめとして各自自由にテーマを決めて作品を制作し、プレゼンテーションをする。
…実物制作、レポート

【評価方法】

作品・レポート・プレゼンテーション・・・・P評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 朝生 麻沙美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科名	ファッション高度専門士科1年	単位	2単位
科目コード	500810	科目名	ファッションデザイン画 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 橋本 定俊

共同担当者 :

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

人体のプロポーションを把握し、衣服のイメージ、バランスを読み取る力・表現する力を習得する。
衣服の構造、縫製を理解しデザイン画として表現するスキルの習得。

I・8頭身プロポーション (1コマ)

人体のプロポーションの描き方

II・ポーズ (3コマ)

片足重心ポーズ正面・斜め・応用について

III・着装表現 (3コマ)

身体に対する衣服のボリューム・丈の関係について

IV・クロッキー (1コマ)

人物と衣服の動きをとらえ、早描きの練習

V・製品図1 (2コマ)

衣服を図で表現する描き方

VI・彩色表現 (3コマ)

透明水彩絵の具の取り扱い

VII・夏期休暇課題について (1コマ)

前期の学習内容について復習

VIII・布目の練習 (2コマ)

パターンや縫製によって変わる布目を理解し描く練習

IX・素材表現 (3コマ)

衣服に用いられる素材を描く練習

X・修了制作 (5コマ)

表現力の強化。学内ファッション画展に向けての作品制作。

XI・製品図2 (1コマ)

服の構造・縫製を学んだ上で製品図を描く方法を再認識する

XII・まとめ (1コマ)

1年間の学習内容についてまとめ

評価方法・対象・比重

授業課題作品及び実技試験で評価。期限後の提出作品は減点とする。

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画

参考図書

その他資料

記載者氏名

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科名 ファッション高度専門士科 1年	単位 1単位
科目コード 500100	科目名 クロッキー	授業期間 (前期)

担当教員(代表) : 酒井英実	共同担当者 :
-----------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 様々なものの見方を通じ、ものを見て描く事・表現につながるような描写とその楽しさを再認識する事とあわせ、
 基本的描写能力・表現能力の習得を目的とする。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	
2	速写をする	17	
3	美術鑑賞 第 104 回光風会展	18	
4	部分の理解1. 脚・手・曲線	19	
5	部分の理解 2	20	
6	色彩技法	21	
7	無色彩技法	22	
8	表現技法 1	23	
9	計測法基礎	24	
10	カットを描く	25	
11	表現技法 2	26	
12	ヌードクロッキー	27	
13	細密描写・まとめ	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重 出席状況 20%、授業態度・過程 30%、提出内容 50%

主要教材図書	特になし
参考図書	特になし
その他資料	

記載者氏名

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科 名 ファッション高度専門士科1年	単 位 2 単位
科目コード 400210	科目名 服飾デザイン論 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 三枝 みさお	共同担当者 :
-------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジションについての講義及び演習を通して基礎的な知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。

レベル設定：色彩の基礎知識や配色の基礎、形態の構成要素やデザイン展開、コンポジションのセオリーについて理解し、それぞれのテーマに沿ったビジュアル表現ができる力を有する。

【授業計画】

1. デザイン概論	・デザインの定義、デザインプロセス、ジャンル	[カラーチャート作成]
2. 服飾デザイン概論	・服飾デザインの目的 ・造形的視点、機能的視点	[課題作成 : HUE] [課題作成 : 色彩とイメージ] [プリント演習]
3. 色彩	・色の三属性とトーン ・色の識別 ・色彩とイメージ ・色彩の感情効果 ・色相を基準にした配色 ・トーンを基準にした配色 ・光と色、三原色と混色 ・色の見え ・パーソナルカラー	[課題作成 : カラーコーディネーション] [プリント演習] [プリント演習] [プリント演習] [プリント演習] [プリント演習] [プリント演習]
4. 形態	・形態の構成要素 ・形態の感情効果 ・シルエットの種類と特徴 ・線とシルエットの分析 ・線とシルエットの発想 ・形態の見え方、イリュージョン ・形態の展開	[プリント演習] [プリント演習] [プリント演習] [プリント演習] [課題作成 : 直線/曲線] [プリント演習] [課題作成 : 形態の展開]
5. テクスチャー	・視覚的触感	[プリント演習]
6. コンポジション	・ドミナント/セントラリティ ・シンメトリー/アシンメトリー ・リズム（レギュラー、イレギュラー、グラデーション） ・色彩構成	[課題作成 : コンポジション] [プリント演習] [プリント演習] [プリント演習]
7. 服飾デザインの展開	・発想法の種類 ・発想法の活用 ・デザイン発想	[プリント演習] [プリント演習] [課題作成 : デザイン発想]

【授業方法】講義、演習（プリント演習、課題作成）

【評価方法】S～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書

文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座② 『服飾デザイン』 文化服装学院編 文化出版局発行

参考図書

その他資料 ベーシックカラー140 B5版、ベーシックカラー140 B8版、カラーチャート

記載者氏名 三枝みさお

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科名	ファッショングループ高度専門士科1年	単位	2単位
科目コード	400400	科目名	西洋服装史	授業期間	通年()

担当教員(代表) : 朝日 真	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します) 古代から近世18世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾の特長を解説していく。19世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を見ていく。20世紀以降はデザイナーの時代であり、デザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からのアプローチによって理解を深める。
--

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	1950年代のファッション(1)
2	博物館見学	17	1950年代のファッション(2)
3	古代の服飾	18	1960年代のファッション(1)
4	中世の服飾	19	1960年代のファッション(2)
5	ルネサンスの服飾	20	1960年代のファッション(3)
6	バロックの服飾	21	1970年代のファッション(1)
7	ロココの服飾	22	1970年代のファッション(2)
8	第一帝政、王政復古時代の服飾	23	1980年代のファッション(1)
9	第二帝政時代の服飾	24	1980年代のファッション(2)
10	第三共和制時代の服飾	25	1990年代のファッション(1)
11	アールヌーヴォー様式期の服飾	26	1990年代のファッション(2)
12	1910年代のファッション	27	
13	1920年代のファッション	28	
14	1930年代のファッション	29	
15	1940年代のファッション	30	

評価方法・対象・比重 前期レポート提出(30%)、学年末定期試験(30%)、出欠と授業態度(40%)

主要教材図書 文化ファッション大系「西洋服装史」
参考図書
その他資料

記載者氏名 朝日 真

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科名	ファッショングループ高度専門士科1年	単位	2単位
科目コード	200310	科目名	アパレル素材論 I	授業期間	通年(26コマ)

担当教員(代表) : 菅野 めぐみ	共同担当者 :
-------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アパレル素材(繊維、糸、布地、染色整理加工)に関する基礎知識について、講義や実験、演習を通し理解させる。更にアパレル業界との繋がりや現状と関連付けながらも解説し、服作りや取扱い、アパレルにおいてのテキスタイル表現として応用展開が出来る力を身につける事を目標とする。

1. 概論／1コマ

アパレル素材とは、繊維、糸、布(織・編)、染色加工について
<ワークブック実習>テキスタイルファブリック サンプル帳作成

2. 繊維／10コマ

繊維とは、長さ別分類、天然繊維、化学繊維の種類、性質、用途、加工について
<ワークブック実習>服装調査、精練漂白の効果

3. 繊維の鑑別実験／2コマ

繊維形状による鑑別、染色(鑑別試薬使用)による鑑別及び染色適合性について
<ワークブック実習>顕微鏡法、呈色法、燃焼法(デモンストレーション)

4. 糸／3コマ

糸の構成(撚り方向や撚り数等)、紡績糸・フィラメント糸、太さを表す単位について
<ワークブック実習>糸作り、紡績糸・フィラメント糸の区別

5. 布地／9コマ

織物組織の種類、特徴、用途について
ニット組織の種類、特徴、用途について
テキスタイルファブリック内の代表的な布地解説及びミニテスト
<ワークブック実習>布地調べ、三原組織作成、組織別分類

6. その他の素材、仕上げ加工、総論／1コマ

その他の素材、仕上げ加工について 授業方法: 講義、実験実習、サンプル回覧、DVD鑑賞含

評価方法・対象・比重
学業評価80%、授業姿勢20%を含めた総合評価

主要教材図書 文化ファッショングループ高度専門士科1年「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書 「ワークブック、アパレル素材論」文化服装学院教科書出版部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化服装学院教科書出版部

記載者氏名 菅野 めぐみ

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科名 ファッション高度専門士科1年	単位 1単位
科目コード 400310	科目名 服装解剖学 I	授業期間 半期（後期）

担当教員(代表) : 足立美智子	共同担当者 :
------------------	---------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します） 解剖学的な人体の構造を衣服パターンと関連づけながら理解させ、美的で機能的な衣服製作に必要な人体（骨格）に関する基礎知識を学習させる。次に人体を外観から観察し、形態やプロポーションを認識させる。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	シルエッタ－分析（前期）	16	
2	オリエンテーション（講義内容の説明）	17	
3	障がい者衣料について（現状と研究活動について）	18	
4	人体の構成と衣服（人体の骨格）	19	
5	人体の構成と衣服（頭部）	20	
6	人体の構成と衣服（脊柱と衣服パターン）	21	
7	人体の構成と衣服（脊柱と衣服パターン）	22	
8	人体の構成と衣服（胸郭・乳房）	23	
9	人体の構成と衣服（胸郭・乳房）	24	
10	人体の構成と衣服（乳房と前身頃・上肢帯）	25	
11	人体の構成と衣服（上肢帯と自由上肢骨）	26	
12	人体の構成と衣服（上肢帯と下肢帯の違い）	27	
13	人体の構成と衣服（下肢帯と自由下肢骨）	28	
14	人体の外観と衣服（下肢帯と下衣）	29	
15		30	

評価方法・対象・比重 ノート提出・出欠状況…50%、確認テスト…25%、骨と原型についてのプリント…25%
--

主要教材図書 服装解剖学ノート（文化出版局）

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 足立美智子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科名 ファッション高度専門士科1年	単位 1単位
科目コード 600100	科目名 ファッションビジネス概論	授業期間 前期()

担当教員(代表) : 澤住 優子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

I. ファッションとビジネス (2コマ)

1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係
2. ファッションの範囲と流行の把握

II. ファッションビジネスの特性 (4コマ)

1. ファッションの構成メンバー ファッション企業の分類
2. ファッションビジネスの変遷 戦後の社会経済とファッション消費の変遷
現代のキーワード
3. 現代のファッションキーワード

III. ファッション産業の構造 (3コマ)

1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
3. 小売業の構造について リテール業界と新業態

IV. ファッションビジネスの実務 (3コマ)

1. アパレル企業の業務と職種について
2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動
3. マーケティングの基礎知識

V. まとめ (2コマ)

1. ファッション産業今後の課題
2. 最新ファッションキーワード

※すべて講義

評価方法・対象・比重

テキスト提出 30% 出席日数 70%

主要教材図書 ファッションビジネス概論用プリント

参考図書 日経、織研新聞、織維白書など

その他資料 教材専用プリント類

記載者氏名 澤住 優子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科 名 ファッション高度専門士科1年	単 位 2 単位
科目コード 504310	科目名 コンピューターグラフィックI	授業期間 通年(26コマ)

担当教員(代表) : 松尾 一弘	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、グラフィックソフトを使う能力を身に着けるとともに、各自のデザイン能力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。

(Illustrator/Photoshop) の基本操作を習得する中で、多様な表現方法を身につけ、クリエイション全般に生かせるよう基礎を固める。使用ソフト Adobe Illustrator / Adobe Photoshop

【授業計画】			
コマ	内 容	コマ	内 容
1	イントロダクション Photoshop基本1(パネル、ツール、写真補正)	16	課題3(ペンツールトレース)
2	Photoshop基本1(レイヤー、写真補正、切り抜き)	17	課題3(ペンツールトレース)
3	Photoshop基本1(切り抜き、レイヤーマスク、文字、合成)	18	課題3(ペンツールトレース)
4	Photoshop練習1(T-shirtグラフィックデザイン) 課題1(T-shirtグラフィックデザイン・合成)	19	課題3(ペンツールトレース)
5	課題1(T-shirtグラフィックデザイン・合成)	20	フォントについて
6	課題1(T-shirtグラフィックデザイン・合成)	21	課題4(製品図)
7	課題1(T-shirtグラフィックデザイン・合成) 提出	22	課題4(製品図)
8	スキヤーの使用法 Photoshop練習2(デザイン画の着彩・テキスタイル合成)	23	課題4(製品図)
9	Photoshop練習2(デザイン画の着彩・テキスタイル合成)	24	課題4(プランディング)
10	Photoshop練習2(デザイン画の着彩・テキスタイル合成) 課題2(デザイン画の着彩・テキスタイル合成)	25	課題4(プランディング)
11	課題2(デザイン画の着彩・テキスタイル合成)	26	課題4(プランディング) 提出
12	課題2(デザイン画の着彩・テキスタイル合成)	27	
13	課題2(デザイン画の着彩・テキスタイル合成) 提出	28	
14	Illustrator基本1(パネル、ツール、ペンツール、パスファインダー)	29	
15	Illustrator練習1(ペンツールトレース)	30	

【評価方法】

S~C・F評価 学業70% 授業姿勢30%

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 筆記用具、USBフラッシュメモリ、作例

記載者氏名 松尾一弘

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051 科名 ファッション高度専門士科1年
科目コード 304010 科目名 服飾手芸 I

単位	1単位
授業期間	半期（前期）

担当教員(代表)：毎熊舞

共同担当者：久保田桂子 田村渚

概要

服飾手芸全般における基礎知識を学び、それぞれの技術を基にして服飾造形及び服飾小物などに応用発展できるようにする。また、素材・テクニック・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする

1. 手芸一般知識(0.5)

手芸の変遷や技術の種類などを理解させる

2. 加飾美表現 エンブロイダリー・各種装飾技法 オリジナルバック制作(9.5)

様々な手芸テクニックを用いてデザイン発想から色、素材の扱い方などを習得しオリジナルの装飾表現方法を理解、習得させる

3. レリーフ・ライク表現 ラティススモッキング 基礎刺し製作1点(1)

布の縫い縮め方によって新しい表面効果を表現するテクニックを習得させる

4. 装飾造形表現 コサージュ 作品製作1点(2)

洋服の残り布や様々な素材を使用してコサージュを作り、服のデザインポイントになる装飾効果とテクニックを習得させる

評価方法・対象・比重

S～C・F評価

評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書

教科書：文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

記載者氏名 久保田桂子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科名 ファッション高度専門士科 1年	単位 1単位
科目コード 900210	科目名 ファッション英会話 I	授業期間 後期

担当教員(代表) : 薩田 須美子

共同担当者 : アリソン・ヴォーン

科目概要 (教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)

英会の基本的な文法を学習したレベルを想定し、英語をツールにしたコミュニケーションをとれるようにさらに英語の運用力を高めることを目標とする。グループ、ペア・ワークを中心に会話の模擬体験を通してコミュニケーションには何が必要かを体感できることを目指す。ファッションを専攻している学生なのでファッションに関する語彙なども導入する。

回数	テーマ
1	オリエンテーション／自己紹介
2	友人紹介
3	日本
4	日常生活を表現する。
5	現在進行形/未来形
6	好きなこと／嫌いなことを表現する

7	道案内
8	場所を表す前置詞
9	過去形の確認
10	ファッションアイテム
11	色/柄
12	ファッション/色、柄の英語表現
13	まとめ

評価方法・対象・比重

出席状況(40%)、まとめのテスト(30%)、ライティング・プレゼンテーション(30%)を総合して評価する。

主要教材図書・参考図書・その他資料等：“Fashionable English” Nan’ un-do

記載者署名欄 薩田 須美子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科名 ファッション高度専門士科1年	単位 1単位
科目コード 900810	科目名 フランス語 I	授業期間 後期

担当教員(代表) : 平野 佐和	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

初めて学ぶフランス語の音と仕組みに、母国語とは異なる面白さや利点を感じられるような個々の興味を促す。まずは日常生活のシーンで使われる基礎的な会話表現を「聴く、話す、読む、書く」を通じて親しみ、人間関係の出発点である挨拶、自己紹介が出来るレベルから目指す。近年のフランス映画やポピュラーなシャンソン、香水などに触れる機会も設けて、フランスの生活文化を感じられるよう配慮する。

【授業計画】			
コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーションと挨拶／アルファベットと数字	16	
2	自己紹介の表現	17	
3	人の特徴を伝える	18	
4	自分の活動を伝える	19	
5	服飾店で買い物をする	20	
6	好きなことを伝える	21	
7	フランス語の音の世界／映画＆音楽鑑賞	22	
8	年齢・兄弟姉妹について伝える	23	
9	家族についての表現	24	
10	場所の情報を添える	25	
11	総復習1・自己紹介スピーチ練習	26	
12	総復習2・挨拶と動詞活用、20までの数字	27	
13	テスト	28	
14		29	
15		30	

【評価方法】

出席状況(授業プリント) 50%+学年末テスト50%

主要教材図書 『アラカルトでフランス語!』(Le français à la carte)／株式会社 朝日出版社

参考図書

その他資料

記載者氏名 平野 佐和

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科名	ファッション高度専門士科1年	単位	1単位
科目コード	947100	科目名	コラボレーションa(自由選択)	授業期間	通年

担当教員(代表) : 朝生 麻沙美

共同担当者 : 喜屋武 敏明

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業とのコラボレーション活動により自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。人と人との様々なつながりと調和が必要となるため柔軟な人間力、コミュニケーション能力を身につける。

【授業計画】

- コラボレーション企画依頼があった際に、教育効果があるものに対し参加する。(13コマ)

【評価方法】

出欠、作品・商品製作及びレポート提出・・・P評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 朝生 麻沙美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科 名 ファッション高度専門士科1年	単 位 1単位
科目コード 980210	科目名 特別講義・キャリア開発 I	授業期間 通年
担当教員(代表) : 朝生 麻沙美		共同担当者 : 喜屋武 敏明

【授業概要、到達目標・レベル設定】

レギュラーカリキュラムに含まれない関連分野の知識習得及び、人材育成のための講義などで構成する。
テキスタイル情報、コレクション情報、キャリア教育、ファッションビジネス、舞台衣装、着物の知識、パターンメーカーの仕事、ビジネスマナー、デザイナーについてなどの各スペシャリストを講師に招いての特別講義を行う。

【授業計画】

- | | |
|---------------------|----------|
| ・マーケティングリサーチ | 波多野 辰美 氏 |
| ・キャリア教育 | 東條 文千代 氏 |
| ・クリエーターとしての商品開発について | 宮前 義之 氏 |
| ・きもの | 近藤 尚子 氏 |
| ・舞台見学オリエンテーション | 窪寺 祐司 氏 |
| ・下着の知識 | 上地 朋子 氏 |

【評価方法】

出欠席による評価・・・P評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 朝生 麻沙美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科名	ファッショングループ高度専門士科1年	単位	1単位
科目コード	930010	科目名	校外研修 I	授業期間	前期

担当教員(代表) : 朝生 麻沙美

共同担当者 : 喜屋武 敏明

【授業概要、到達目標・レベル設定】

都会生活から離れた「山」における野外活動、体育活動ほか諸活動など団体生活の体験を通じ、指導力、協調の精神を養い、個人相互、クラス間の親睦を深める。

オリエンテーション、クラスミーティング、コミュニケーション活動、グループコミュニケーション、野外炊飯、スコアオリエンテリング、体育活動、キャンプファイバーを通して人間力の向上を目指す。

【授業計画】

北竜湖資料館、世界の民俗人形博物館、須坂版画美術館・平塚運一版画美術館、善光寺の見学。

【評価方法】

出欠席による評価・・・・P評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 朝生 麻沙美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科名 ファッション高度専門士科2年	単位 16単位
科目コード 001011、 001012	科目名 アパレル造形論 IA IB	授業期間 前期・後期

担当教員(代表)：宮原 祐紀子	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

- 1年次に習得した基礎知識、技術をもとにアパレル造形として発展させ、トレンドを意識した商品としての価値観を加味しデザイン発想する。また、デザイン別・素材別のパターンと縫製技術を習得する。
- 個に対する服作りから不特定多数の量産への意識付けと理論の展開を図り、縫製仕様・縫製方法を理解する。
- ドレーピングの習得を通しバランス感覚を養い、立体感とデザイン発想を各自の作品に反映させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

アパレル造形論 IA、IB 前期2単位 後期2単位 001011、001012

アパレル造形演習 デザイン IA、IB 前期2単位 後期2単位 001111、001112

アパレル造形演習 実技 IA、IB 前期2単位 後期2単位 001311、001312

アパレル造形演習 ドレーピング IA、IB 前期2単位 後期2単位 001211、001212

- | | |
|-------------------|--|
| 1、一重ジャケット (前期) | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 2、バザー作品 (前期) | 文化祭バザー作品 グループ製作 |
| 3、総裏ジャケット (前期・後期) | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 4、皮革作品 (後期) | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 5、修了制作 (後期) | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 6、ドレーピング (前期・後期) | 胸ぐせダーツの応用・スカート・ブラウス・ジャケット
(使用ボディ…文化ボディ) |

評価方法・対象・比重

- アパレル造形論…理論試験
 - アパレル造形演習デザイン…課題提出作品、コーディネート着装
 - アパレル造形演習実技…課題提出作品(レポート含)
 - アパレル造形演習ドレーピング…実技試験、課題提出作品
- 評価基準：学業評価 80%、授業姿勢 20% (アパレル造形論 理論試験 100%)

主要教材図書・・・文化出版局

ファッション大系…②スカート・パンツ ③ブラウス・ワンピース ④ジャケット・ベスト ⑤コート・ケープ
服飾造形講座 服飾造形応用編 I、II (特殊素材 高級素材)
立体裁断(基礎編) 工業パターンメーキング

参考図書 gapCOLLECTIONS 織研新聞 WWD

その他資料 参考作品 プリント 段階標本

記載者書名欄 宮原 祐紀子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科名 ファッション高度専門士科 2年	単位 1単位
科目コード 400900	科目名 生産管理概論	授業期間 前期

担当教員(代表) : 加藤紀人	共同担当者 :
-----------------	---------

概要

生産活動の重要な要素である Q(品質) C(原価) D(納期)について認識を向上させることを目標とする。

生産実務において情報伝達に用いられる「縫製仕様書」「加工・裁断・芯貼り指図書」を作成できる力を身につける。

また生産現場である工場と円滑に業務を遂行することを目指し、製造現場での取り組みを知ることで、企画で設定した QCD を実現するための基礎的な能力を養う。

授業概要

1. ガイダンス (1コマ)
生産と制作の違い
2. アパレル産業の生産プロセス (1コマ)
メーカーと工場の仕事の流れ
3. 生産指示書類 (3コマ)
メーカーから工場への生産依頼における、情報伝達について
「加工・裁断・芯貼り指図書」「縫製仕様書」作成
4. 工程分析 (3コマ)
工程分析の目的
工程分析表作成
5. 製造品質 (2コマ)
品質の捉え方
製品比較による品質評価
6. 品質の作り込み (1コマ)
標準化による品質の安定、向上
7. 製造原価、産業の動向 (1コマ)
原価計算の基礎
国内生産と海外生産
8. 貿易 (1コマ)
アパレル貿易の現状
関税

評価方法・対象・比重

筆記試験 (60%) + 提出物 (20%) + 出席 (20%)

主要教材図書

「文化ファッション大系 アパレル生産講座⑦ アパレル生産管理」「工業用ミシン・アイロンの基礎知識」

参考図書

その他資料 私製プリント

記載者書名欄 加藤紀人

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科名 ファッション高度専門士科 2年	単位 2単位
科目コード 950021、 950022	科目名 自由研究 II A、II B	授業期間 前期・後期

担当教員(代表)：宮原 祐紀子

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

- ・ 子供服の一般知識と原型を理解し、グループで型出し・プレゼンテーションを行う。
- ・ 一重ジャケットとのコーディネートを考えボトムスを作成する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、子供服 一般知識・原型作図・型出し・プレゼンテーション
- 2、自由作品 実物製作

評価方法・対象・比重

評価基準：提出作品、研究発表、80% 出欠状況 20%

主要教材図書・・・文化出版局

文化ファッション大系…服飾造形講座⑧子供服

参考図書 なし

その他資料 実物参考作品

記載者書名欄 宮原 祐紀子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド 12052	科 名 ファッション高度専門士科 2年	単 位 2 単位
科目コド 500820	科目名 ファッションデザイン画 II	授業期間 通年

担当教員(代表) : 金谷 容子

共同担当者 :

教育目的・レベル設定など

ファッションンドローイングの応用技術を習得して独自のアイディアをデザイン画で表現し、ポートフォリオにまとめる。
デザインコンセプト（目的）を明確に意識したデザイン展開を目標とする。

授業概要

前期1~4（コマ数）1コマ=90分

1. (3) 人物画／動きのあるポーズの描き方

ポーズの写真資料から人体の動きを分析し、フリーハンドで立体的に描く表現技術の習得する

2. (3) デザイン研究1／縫製技術とファッションデザイン画

各種縫製技術の描き方（ギャザー・フレア・ドレープ・カスケードなどを用いてファッションデザインを考える）

3. (3) コンテスト1／新人デザイナーファッション大賞

独自のアイディアをファッションデザイン画にまとめコンテストにチャレンジする

4. (4) デザイン研究2／服の歴史からのデザイン画

アイテム誕生の時代背景を調べ、主なるデザインの本質を活かし

独自の現代的アイディアで展開する（デザイン展開＝類似展開）

後期5~9

5. (2) コンテスト2／全国服飾学校ファッション画コンクール

指定されたテーマの意味を理解し、独自アイディアからファッションデザイン画で表現する

6. (3) デザイン研究3／マイコレクション

独自のテーマ設定・3スタイルからオリジナルデザイン画とアイテム製品図をまとめる

7. (2) コンテスト3／学内コンテスト

独自のアイディアを3スタイルのデザイン画にまとめ、コンテストにチャレンジする

8. (5) 修了制作／校内ファッション画展

指定条件のもと、これまで習得した感性と画力の成果をファッションデザイン画にまとめる

（オリジナルの作画であることを重視）

9. (2) デザイン研究4／ポートフォリオ

1年間の課題作品を1冊のファイルにまとめ、次年度のデザイン資料ブックとしてまとめる

評価方法・対象・比重

課題作品・出席状況・授業態度・学年末試験による総合評価

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④ファッションデザイン画

参考図書 ファッション雑誌 プリント

記載者氏名 金谷 容子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052 科名 ファッション高度専門士科 2年	単位 1単位
科目コード 501600 科目名 色彩計画	授業期間 後期

担当教員(代表) : 天野豊久 共同担当者 :

教育目標・レベル設定など

1年次『服飾デザイン論』で学習した色彩の知識を基礎とし、ファッションデザイン、コーディネーションにおいて計画的に行う色彩活用の技術や考え方を学習する。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 概論	産業と色彩 産業における色彩の役割 流行色のしくみ	〈講義 2コマ〉
2. ファッションカラーコーディネーション	色相・トーンによる配色 ファッションカラーコーディネーション トーン・オン・トーン／フォ・カマイユ トーン・イン・トーン／コンプレックスハーモニー	〈講義および演習 6コマ〉
3. イメージと色彩	基調色と配合色 ファッションイメージと配色	〈講義および演習 3コマ〉
4. 色彩計画	色彩の心理的効果／色の連想・象徴 色彩によるイメージの表現 カラーデザイン① コンセプト、イメージ構築 カラーデザイン② デザインからのカラーバリエーション展開	〈講義および演習 4コマ〉

評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準: 学業評価 70% 授業姿勢 30%

主要教材図書

文化ファッション体系服飾関連専門講座9 『服飾デザイン』(文化服装学院編／文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart, ベーシックカラー 140

記載者書名欄 天野豊久

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科名 ファッション高度専門土科2年	単位 2単位
科目コード 200320	科目名 アパレル素材論Ⅱ	授業期間 通年

担当教員(代表) : 野口 美千代	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など

素材の特性を最大限に引き出した完成度の高いアパレル製品を作るため、アパレル素材論Ⅰで学んだ事を基礎に、より深い専門知識を学習する。またその知識を企画・設計に生かすことを目標とする。

1. テキスタイルの構成要素 (9コマ)

テキスタイルの構成要素、各種の繊維の布地について解説。(講義・実習)
新素材・機能性素材等の解説。(講義・実習)

2. 布地の風合い表現 (4コマ)

各種布地の風合い表現方法を解説。(講義・実習)

3. 布地の性能実験 (6コマ)

布地の基本性能を解説。(講義・実習・発表)

4. 皮革 (1コマ)

皮革の性質、特徴、種類等を解説。

5. プリーツ性について (2コマ)

各種の布地についてプリーツ性について解説。(講義・実習)

6. 布地の産地 (3コマ)

織物産地を解説。(講義・実習)
ニット産地を解説。(講義・実習)

7. ニット・その他の布地 (1コマ)

各種のニット・その他の布地に関して解説。(講義・実習)

8. 企画・設計 (1コマ)

アパレル素材論Ⅱのまとめ (講義)

評価方法

評価基準 : 学業評価 80% 授業姿勢 20%

主要教材図書

文化ファッション体系服飾関連専門講座① 「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書「ワークブック アパレル素材論」文化服装学院教科書出版部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者書名欄 野口美千代

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科名 ファッション高度専門士科 2年	単位 1単位
科目コード 200210	科目名 アパレル染色演習 I	授業期間 半期（前期）

担当教員(代表)： 篠原 幸子	共同担当者： 吉村 とも子
-----------------	---------------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

テキスタイル染色に関する基礎的な知識、技法を各種実験・実習を通じて得ることにより、アパレルにおける新たなデザイン発想の可能性を広げる。さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについて理解を深めることを目標とする。

- | | | |
|--------------------|--|---------|
| 1. 縮絨加工 (2コマ) | ・羊毛の縮絨性について
・繊維を生地にする（原毛からのフェルト制作）
・ニードルパンチの応用 | (講義・実習) |
| 2. 染色概論 (1コマ) | ・主な染料の種類と染色性、染色の仕組み、染色条件について | (講義) |
| 3. 絞り染 (3コマ) | ・絞り加工による服飾素材つくり
・衣類に使用されている繊維の染色適性
・一般的浸染方法と絞り染色方法 | (講義・実習) |
| 4. 捺染加工 (6コマ) | ・プリント生地の成立と各種捺染方法について
・型紙捺染について
・樹脂糊による加工方法について
・特殊プリント加工 | (講義・実習) |
| 5. 乾式熱転写プリント (1コマ) | ・分散染料による乾式転写の原理および技法について | (講義・実習) |
| 6. マーブリング (1コマ) | ・インクによるマーブル模様表現について | (講義・実習) |

評価方法・対象・比重

学業評価 70% 、授業姿勢 30%

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾専門講座 3. アパレル染色論

参考図書

その他資料

記載者氏名	篠原 幸子
-------	-------

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科名 ファッション高度専門士科 2年	単位 1単位
科目コード 400320	科目名 服装解剖学Ⅱ	授業期間 半期（後期）

担当教員(代表) : 高見澤ふみ	共同担当者 :
------------------	---------

概要（教育目標・レベル設定など 200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

1年次で学んだ服装解剖学の基礎を発展させ、筋の構造を解剖学的に理解させる。さらに動態計測（石膏計測）実習により、衣服製作に必要な皮膚の運動量・変化を把握させ、計測結果を基に機能性大の衣服設計（デザイン）を行う。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション（講義内容の説明）	16	
2	機能性大の衣服（機能性大の袖）	17	
3	“（上肢の運動と動態計測からの衣服制作）	18	
4	人体の運動と筋（筋の種類）	19	
5	人体の運動計測（石膏計測の準備と手順、要点説明）	20	
6	人体の運動計測（石膏実習）	21	
7	“	22	
8	“（貼紙実習）	23	
9	“（和紙の展開実習）	24	
10	人体の運動と筋（頸部の筋）	25	
11	人体の運動と筋（胸部の種類）	26	
12	人体の運動と筋（背部の種類）	27	
13	人体の運動と筋（腹部の種類）	28	
14	体型の経年変化とボディについて	29	
15		30	

評価方法・対象・比重

S～C、F評価

学業評価：レポート…50%、ノート・プリント…20%、平常点…10% 授業姿勢：出欠状況…20%

主要教材図書 服装解剖学ノート（文化出版局）

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 高見澤ふみ

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科名 ファッション高度専門士科 2年	単位 1単位
科目コード 600210	科目名 ファッションビジネス論 I	授業期間 前期()

担当教員(代表) : 澤住 優子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・ファッションビジネスの現状を把握する
- ・商品企画のプロセスと必要な情報活動についての把握をする

I. ファッションビジネス 基礎 (1コマ) ... 講義

- ① オリエンテーション ファッションと衣服の関係とデザイナーとファッションビジネス

II. 情報活動について (1コマ) ... 講義

- ① 情報活動の位置づけと重要性について
- ② ファッション情報の流れについて

III. 市場調査の手法 (4コマ) ... 講義・演習

- ① 店頭情報の把握
- ② 商品情報の収集と分析

IV. 商環境比較調査 (7コマ) ... 講義・演習

- ① 新規にファッションブランド立ち上げに伴う出店エリアの比較調査、分析

評価方法・対象・比重
制作物 70% 出席 30%

主要教材図書

参考図書 服飾図鑑・ファッション情報誌・ファッションキーワードなど

その他資料 教材専用プリント類

記載者氏名 澤住 優子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科 名 ファッション高度専門士科 2年	単 位 1単位
科目コード 600900	科目名 ファッションマーケティング	授業期間 後期

担当教員(代表) : 砂生 政信	共同担当者 :
------------------	---------

概要（教育目標・レベル設定など 200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・マーケティングの基礎を学び、客観的な視点で市場を見る目を養う。
- ・マーケティングのプロセスにそったブランド設計を通して、企業組織や個人の役割について学ぶ。

<後期：14コマ>

1. マーケティングとは（講義・演習×1コマ）
 - ・マーケットとは・マーケティングとは
 - ・イメージワーク
2. マーケティングリサーチ（講義・演習×1コマ）
 - ・リサーチの基本
 - ・4Pとマーケティングミックス
3. マーケティングのプロセス（講義・演習×1コマ）
 - ・STPマーケティング
4. 情報とは、ブランドとは（講義×1コマ）
 - ・情報メディアの活用
 - ・ブランドの考え方と理解
5. 課題説明（講義・実習×1コマ）
 - ・マーケティングからのブランド設計
6. ブランド企画のステップ（講義・実習×2コマ）
7. 企画書構成説明（講義×1コマ）
8. 企画書作成（点検・実習×4コマ）
 - ・ブランド概要の設定
 - ・ターゲットライフスタイル分析とマップ作成
 - ・ポジショニングマップの作成
 - ・メインアイテムとメインデザインの設定
 - ・スタイリング提案
 - ・チャネル設定とプロモーション
9. プрезентーション（発表×2コマ）

評価方法・対象・比重

- ・S～C・F評価
- ・評価基準：学業評価 80%、授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 配布プリント

記載者氏名 砂生 政信

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科 名 ファッション高度専門士科 2年	単 位 2 単位
科目コード 402010	科目名 CAD パターンメーキング I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 加藤紀人	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など アパレル産業の設計・生産・製造のプロセスにおいて利用されている「アパレル CAD」について、その有用性を認識し活用するための技術を身につける。CAD での囲み作図や、手書きの作図をスキャナで入力したものをデータ化し縫い代をつけるなど、工業用パターンを完成させる方法の基本的な操作を習得する。 基礎的な作業ができるレベルを目指す。

<授業概要>
I. オリエンテーション (1 コマ) ① アパレルメーカーにおける CAD の役割解説 ② パターンマジックの基本操作
II. 囲み作図 (8 コマ) ① 文化式原型作図 ② タイツスカート作図 ③ 各自のオリジナル原型作図
III. 展開操作 (2 コマ) ① スカートパターンの展開 ② 原型、胸ぐせの展開
IV. シャツスローパーを利用した作図展開 (3 コマ) ① シャツの詳細作図 ② 各種修正
V. パターン作成 (1 コマ) ① パーツ化 ② 縫い代つけ ③ パーツ情報の設定
VI. ジャケットスローパーを利用した作図展開 (3 コマ) ① 身頃の詳細作図 ② 裏、芯等の作図
VII. 手書きパターンのデータ化 (4 コマ) ① スキャナを利用した取り込み ② データ化
VIII. マーキング (1 コマ) ① マーキングの手順とオペレーションを身につける
IX. 試験 (2 コマ) 前期、後期各 1 回授業内で実施

使用ソフト : 東レ ACS 株式会社製クリアコンポシリーズ (パターンマジック、マーカーマジック)

評価方法・対象・比重
評価方法 : 実技試験 (70%) + 提出物 (20%) + 出席 (10%)

主要教材図書
参考図書
その他資料 私製プリント

記載者氏名 加藤紀人

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052 科名 ファッション高度専門士科2年	単位 2単位
科目コード 101510 科目名 ニットアパレル造形 I	授業期間 通年

担当教員(代表)：御田 昭子	共同担当者： 前田 亜希子
----------------	---------------

教育目標・レベル設定など ニットの基礎知識を習得し、概論及び商品知識を理解する 基礎技術を習得し、その応用で布帛の知識を生かしたニット作品（コーディネート作品、小物を製作する）
--

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先 *ニットの一般知識について ニットの起源歴史 織りと編みの違い ニットの特性 ニットの三原組織 JIS記号 編成原理 素材 テキスタイル 器具 用具など *ニット原型 ニット原型と布帛原型の違い *ニット素材 編み糸の種類(糸の太さと番手 天然繊維 化学繊維 サンプル作成) *テキスタイル ゲージ別 編み組織別(サンプル作成) *商品知識 丸編み製品 横編み製品の理解 *ニットの基礎技術 棒針編み(3原組織) 鉤針編み(鎖編み・細編み・中長編み・長編み) *編地 ゲージ別、組織別(横、経編)編み地各種添付 解説 *ニットの商品サンプル アイテムについて 商品解説 *実物制作 ニット作品 帽子、マフラー、ストール、ショール、セーターなど
--

評価方法・対象・比重 提出物…80% 授業姿勢・出欠席…20%

主要教材図書 ニットの基礎技術 参考図書 小物集 その他資料 参考作品
--

記載者書名欄 御田 昭子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12052	科名	ファッショングラフィック高度専門士科 2年
科目コード	504320	科目名	コンピュータグラフィックⅡ

単位	2 単位
授業期間	通年

担当教員(代表) : 加藤正人	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッショングラフィックの役割と有効性を理解し、ファッショングラフィック高度専門士科の実務能力習得を目標とする。衣服製品図/デジタルファッショングラフィックによるファッショングラフィックの意匠を養う。

【授業計画】

授業概要

(1) デジタルファッショングラフィックの制作(5コマ)

- Photoshopによるファッショングラフィックデザイン画、スタイル画の制作
- デザインの展開

(2) 衣服製品図の制作/応用(6コマ)

- Illustratorによる衣服製品図の製作
- 各アイテム別描画表現
- パーツ、ディティールの表現
- デザイン展開
- デザイン画のまとめ方/レイアウト

(3) 服飾図案の製作(7コマ)

- グラフィックパターン、連続柄の制作(Photoshop, Illustrator)
- 柄の送り、リピートの製作
- デジタルファッショングラフィック、衣服製品図の制作と柄の落としこみ
- レイアウト、デザイン解説とまとめ

(4) ブランドロゴの製作(7コマ)

- CI(コーポレートアイデンティティ)について
- ブランドロゴの機能と役割
- 図形のデザインと制作
- 文字のデザインと加工
- ロゴ&マークの制作プロセス
- モノグラムのデザイン

(5) ブランディングツールのデザイン(5コマ)

- 各ブランディングツールの機能と役割
- 商品下札(プロダクトカード)のデザイン
- 織りネーム(ブランドタグ)のデザイン
- ショッパーのデザイン
- 自由製作

使用ソフト

- Mac OS
- Adobe Photoshop
- Adobe Illustrator

【評価方法】 • 提出課題-60% • 実技試験-20% • 出席率、授業態度-20%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 課題別各種プリント、作例

記載者氏名 加藤正人

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12052	科名	ファッション高度専門士科	2年	単位	1単位
科目コード	303000	科目名	帽子		授業期間	後期（B週）

担当教員(代表)：窪田 恵美子

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定）

帽子の一般常識と帽子に対する知識を深め、服飾に於ける帽子の位置づけを理解させる。

トータルイメージを表現する力を養い、作品制作を通して帽子のイメージや服とのバランス感覚などを把握

I オリエンテーション 講義 [1コマ]

- 帽子の形の種類、素材、木型、用具など専門性の説明

II 実物製作 2作品の説明

(1) 物帽体（フェルト帽体）の製作 講義・演習 [7コマ]

- 帽子用のフェルト帽体（ファーフェルト）による実物製作
- 木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導
- スチームボイラーを用いて、蒸気によるデザイン別成形方法を指導

(2) 帽作品の製作 講義・演習 [6コマ]

- 基礎作図からのパターンの応用、製作方法
- 仮縫い方法、芯地の選び方、縫製技術についてデザイン別に説明
- 素材別の製作方法

評価方法・対象・比重

作品：授業姿勢 80%：20%

主要教材図書

文化ファッション体系 ファッション工芸講座1 帽子 基礎編

参考図書 各種帽子写真集など

その他資料 コスチューム資料室標本

記載者氏名 窪田 恵美子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科名 ファッション高度専門士科 2年	単位 2 単位
科目コード 900220	科目名 ファッション英会話 II (選択)	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 石井 真弓	共同担当者 : なし
------------------	------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

基本的な英文法を学んだ学生を対象に文法の復習・確認を主に口頭の運用を高めることを目標とする。ファッションを先行している学生なので、ファッション関連の語彙を増すこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。Show & Tellによるプレゼンテーションを行うことにより、英語のエッセー構造を学び、英語発話力を高める。レベルは初級の中位から上位まで。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション / 自己紹介	15	Unit 5 / (形容詞)
2	Unit 1 What shall I wear? (Fashion items)	16	Unit 5 / (比較級の文型)
3	Unit 1 / (装い)を文章で表現)	17	Unit 5 / (最上級の文型) まとめ
4	Unit 2 What color is it? (色彩)	18	Halloween (語彙・起源)
5	Unit 2 / (柄)	19	Unit 6 What does he look like? (体型の表現)
6	Unit 2 / 総合表現 (アイテム、色、模様)	20	Unit 6 / (身体部分の英語表現)
7	Unit 3 What's it made of? (素材)	21	Unit 6 / (性格表現)
8	Unit 3 / (衣類のケアと素材の関係)	22	Unit 6 / (人物描写の総まとめ)
9	Unit 3 / まとめ	23	Christmas (文化的背景)
10	Unit 4 Do they match? (Coordination)	24	Happy New Year (年頭の誓い: 予定、願望)
11	Unit 4 / (基本的な語彙・文型)	25	プレゼンテーション 準備 (原稿作成)
12	Unit 4 / まとめ	26	プレゼンテーション 準備 (原稿作成)
13	My friend's summer vacation report	27	プレゼンテーション 発表
14	Unit 5 What's hot and what's not? (形容詞)		

評価方法・対象・比重

平常点(出席、クラス参加) : 30% 授業中の小テスト : 30% ライティング : 10% プrezentation : 30%

主要教材図書	Fashionable English (南雲堂)
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者氏名	石井 真弓
-------	-------

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド 12052	科名 ファッション高度専門士科 2年	単位	2 単位
科目コド 900820	科目名 フランス語II	授業期間	通年

担当教員(代表) : ジル・ランドゥーチ

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

フランス語を半期学んだ学生を対象としたクラス運営を目標とする。フランス語独特の音に慣れ、基本的な文法・動詞の活用ができるようにする。またフランス語で簡単で日常的にかわす挨拶ができるように、また初步のコミュニケーションをフランス語でできることを目指す。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	質問詞
2	コース導入、説明	17	道案内
3	être 動詞	18	切符を買う
4	名詞	19	人物描写
5	avoir 動詞	20	finir 動詞
6	aller 動詞 + 方向	21	devoir 動詞
7	prendre 動詞	22	sortir 動詞
8	faire 動詞	23	savoir 動詞
9	過去形導入	24	フランス紹介
10	過去形	25	未来形
11	場所を表す表現	26	好みを表現
12	復習	27	まとめと発表
13	目的(～するため)の表現	28	
14	vouloir 動詞	29	
15	Je voudrais + er 動詞	30	

【評価方法】

出席状況、クラスの英語活動への参加状況、まとめのテストなどを総合して評価する。

主要教材図書

EN SCENE I 「場面で学ぶフランス語 1」 Momoyo Takahashi & Nicolas Jgonday 三修社

参考図書

その他資料

記載者氏名 ジル・ランドゥーチ

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科名 ファッション高度専門士科 2年	単位 2 単位
科目コード 900910	科目名 中国語 I (選択)	授業期間 通年 ()

担当教員(代表) : 鮎坂 江理	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型入り、実践練習で会話表現を覚えます。

初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩表現についてトレーニングします。中検4級基準。

◎ マスター 発音練習	1コマ
講義内容: ゼロから中国語を学ぶ人を対象。発音の土台、「ピンイン」から始め、難関の「四声」、「変調」と「巻き舌音」を確実にマスターします。発音練習に伴い、単語を覚えるトレーニングを行います。	
◎ 入門1 基本文型 (代名詞・述語文・場所と方位表現)	3コマ
講義内容: 単語を蓄積しながら、文型の学習に入ります。“是”を用いて「～である」という名詞から始め、形容詞を中心とする文、及び特殊な動詞“有”“在”を用いて「～に～がある、～は～にある」という所有・存在の意味を表す文に重点を置き会話力の向上を目指します。	
◎ 入門2 基本会話表現 (数詞・量詞・副詞・疑問文)	3コマ
講義内容: 数を使って日付や時間を表現する言葉と分からぬ数や量を尋ねる言葉を学びます。また、量詞を使って簡単な構造文を覚えます。その上、実践練習に伴い、会話表現を覚えます。	
◎ 初級1 時制のニュアンス (完了/経験/継続を表す助詞及び動作の持続態)	7コマ
講義内容: ごく一般的な動詞を述語にする文について学習します。語順は英語に似て S.V.O. となります。英語と違い、動詞の語尾は人物・時制によって変化しません。助動詞“了”“着”“過”と“正在”を使い、時制自制のニュアンスを練習します。	
◎ 初級2 意思の伝え方 (前置詞)	2コマ
講義内容: 会話も文書もよく使われている「前置詞」(日本語では、「～に、～で、～から、～まで、～のために」などに相当する)を中心として、同じ「前置詞」の異なる使い方を勉強します。そして、自分の意思をより正確に相手に伝える表現を練習します。	
◎ 準中級1 回数・時間・程度の表し方 (疑問文・比較文・運動式)	8コマ
講義内容: 日本語と逆の順になる動作の回数や時間の長さを表す言い方、及び疑問を表す言い方を学習するほか、2つ以上の動作が含まれている運動文を勉強して、自らいろいろな文章を作ります。同時に会話と聴解も前へ進んでいきます。	
◎ 作文演習	3コマ
講義内容: 作文にはその材料となる単語の貯蔵を豊にしておく観念から、中国語の発想の基本的なものは何かを分析し、中国語への転換練習を行いながら、中国語の基礎を一步一步踏み固めていくようにトレーニングします。	

評価方法・対象・比重

授業内のミニテスト (グループ総合レポート提出 50%) ;
ペーパーテスト (30%) ; 授業出欠率 (20%)

主要教材図書 「中国語入門」 鮎坂江理編集
参考図書 「デイリーコンサイス中日辞典」 三省堂 杉本達夫他著、補足プリント (単語/構文サンプルなど)
その他資料 「中国語」 林台州など翻訳 池田書店
記載者氏名 鮎坂 江理

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科名 ファッション高度専門士科 2年	単位 1単位
科目コード 947200	科目名 コラボレーションb (自由選択)	授業期間 通年

担当教員(代表) : 宮原 祐紀子	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など

企業とのコラボレーション活動により自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。人と人との様々なつながりと調和が必要となるため柔軟な人間力、コミュニケーション能力を身につける。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- コラボレーション企画依頼があった際に、教育効果があるものに対し参加する。(13コマ)

評価方法・対象・比重

出欠、作品・商品製作及びレポート提出

評価基準 : 学業姿勢、出欠状況 100%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者書名欄 宮原 祐紀子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052 科名 ファッション高度専門士科 2年	単位 1単位
科目コード 980220 科目名 特別講義・キャリア開発Ⅱ	授業期間 通年

担当教員(代表)：宮原 祐紀子	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

- レギュラーカリキュラムに含まれない関連分野の専門知識を習得する。
- アパレル産業の現状や先輩の実体験をアドバイスされることにより将来の方向性を決めていく。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、テキスタイルトレンド情報 2コマ(前期・後期)
- 2、ファッションビジネスについて 1コマ(前期)
- 3、コレクション情報 2コマ(前期・後期)
- 4、子供服について 1コマ(後期)
- 5、皮革の扱い方 2コマ(後期)
- 6、メンズファッション 1コマ(後期)
- 7、キャリアアップ教育 5コマ(後期)

評価方法・対象・比重

評価基準：参加出席状況 100%

主要教材図書 なし

参考図書 WWD・Fashion News (パリ、ロンドンコレクション)・・・株式会社 INFAS ブリケーションズ

その他資料 各講師による資料

記載者書名欄 宮原 祐紀子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科 名 ファッション高度専門士科 2年	単 位 1単位
科目コード 930020	科目名 校外研修Ⅱ	授業期間 通年

担当教員(代表)：宮原 祐紀子 共同担当者：

教育目標・レベル設定など

- ・研修を通して更に学生同士のコミュニケーションを深めると併に、研修先での企業研修、工場見学、体験学習から得られる自己の可能性を発見出来る様、創造性の領域を広げる。
- ・研修先の企業の方とも、積極的に質問や自己アピールに挑戦し、自己の知識の引き出しを多く得られる様、後々の自分の進むべき道の参考になる様に研修中もアンテナを張る努力をする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

研修旅行…近畿地方（名古屋、和歌山、大阪、岐阜）の工場見学も含めた研修旅行

※各自現地でもらった資料のまとめ。

評価方法・対象・比重

評価基準：参加出席状況 100%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 校外研修しおり

記載者書名欄 宮原 祐紀子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053 科名 ファッション高度専門士科 3年	単位 16単位
科目コード 001021、科目名 アパレル造形 II A・II B 001022	授業期間 前期・後期

担当教員(代表)：野中 慶子

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

3年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究し、平面作図からだけのデザインではなく立体からもとらえられる様、自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。デザイン発想から作品製作まで個性を生かした表現、テクニックの育成をする。

授業概要

アパレル造形 論	II A 1単位	・	II B 1単位	001021、001022
アパレル造形 デザイン	II A 2単位	・	II B 2単位	001121、001122
アパレル造形 ドレーピング	II A 2単位	・	II B 2単位	001221、001222
アパレル造形 実技	II A 3単位	・	II B 3単位	001321、001322

1 カジュアルウェア I 52コマ（前期）

デザイン／パターン／実物製作／レポート、プレゼン

2 バザー作品 16コマ（前期）

文化祭バザー作品（セットアップ）

3 ウィンターデザインコート 45コマ（前期・後期）

デザイン／パターン／実物製作／レポート、プレゼン

4 ニューフォーマル 24コマ（後期）

デザイン／OP・ドレープ／パターン／実物製作／レポート、プレゼン

5 修了製作 89コマ（後期）

デザイン／パターン／実物製作／レポート、プレゼン

6 ドレーピング 28コマ（前期・後期）

ストレート原型／3面構成 JK／ラグランスリーブコート／自由研究

※使用ボディ・・・工業ボディ

評価方法

課題作品によるデザイン・パターンメーキング・テクニック・レポート／プレゼンの総合評価（80%）

出席、授業態度（20%）

アパレル造形論 前期・後期試験理論（100%）の評価

主要教材図書

文化ファッション大系

参考図書

その他資料 WWD 織研

参考標本

各種実物標本 トレンドマップ資料 部分縫い

その他資料

記載者氏名 野中 慶子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12053	科名	ファッション高度専門士科 3年	単位	1単位
科目コード	005720	科目名	量産技術実習 II	授業期間	後期（集中）

担当教員（代表）：加藤紀人

共同担当者：井戸川 倫也

概要

アパレル産業の生産プロセスのうち、縫製工場における工業的な生産方法について「セル生産方式」をベースにした実習を通して理解を深める。均一な製品を安定的かつ効率的に生産するための手法として用いられる生産指示書類の重要性も再確認する。また完成品の検品を行うことで、商品となって消費者の手に届く製品が満たすべき品質を認識することを目標とする。

授業概要

1. ガイダンス・縫製準備… (1コマ)
①実習の目的、概要説明
②縫製準備工程（延反、裁断、芯貼り、仕分け等）
2. 部品縫製 … (5コマ)
各部品の作りこみ実習
3. 組み立て … (5コマ)
完成部品の組み立て工程実習
4. まとめ … (2コマ)
糸始末等、まとめ作業実習
5. 検品 … (1コマ)
検査基準に基づき、
 - ・仕上がり寸法確認
 - ・外観検査

評価方法・対象・比重

製品品質 (70%) + 出席 (30%)

主要教材図書

参考図書

その他資料 私製生産指示書

記載者氏名 加藤紀人

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12053	科名	ファッション高度専門士科 3年	単位	1 単位
科目コード	609550	科目名	アパレル商品企画・演習	授業期間	前期（14コマ）

担当教員(代表)：茅野 誉之

共同担当者： 丸龍 文人

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション業界における、企画デザイナー、デザイナーブランドのどちらにも対応出来るよう、ブランド設定、ターゲット分析、オリジナルデザインによるサンプル制作を通して、商品としての企画を学ぶ。
また生産管理や工場への注文など細部に渡り、企業で行われている仕事の内容や方法を理解する。

【授業計画】

1. オリエンテーション（4コマ）

課題説明 2019SSのブランド立ち上げ 制作3体 チーム分け（5チーム）
市場、トレンド調査分析 話し合い デザイン検討

2. ブランドプレゼンテーション第一回（2コマ）

各チーム制作商品型だし点検 アドバイス 修正

3. ブランドプレゼンテーション第2回（4コマ）

各チーム制作商品型だし点検 アドバイス 修正
素材確認 縫製方法、付属（ファスナー、ボタン、テープ、紐等）関係アドバイス

4. 3体制作商品 プrezentation（2コマ）

3Lokk 総合点検 ブランドとして3体全体の統一、アピールが出来ているのかアドバイス
商品としての企画に対応しているのかアドバイス

5. 最終商品 プrezentation（2コマ）

各チーム商品解説 各チームのブランド設定に応じて講評、採点
企業デザイナーの仕事内容についてのまとめ
就職や将来の希望職種などのアドバイス

【評価方法】

出席、課題提出状況 20%
プレゼンテーション、課題内容 80% 英字評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 茅野 誉之

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科名 ファッション高度専門士科 3年	単位 2単位
科目コード 950030	科目名 自由研究 III	授業期間 通年

担当教員(代表)：野中 慶子 共同担当者：

教育目標・レベル設定など

3年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究し、平面作図からだけのデザインではなく立体からもとらえられる様、自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。デザイン発想から作品製作まで個性を生かした表現、テクニックの育成をする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

各自決めた課題を自由に研究する。

4年次進級の際、マイコレクションのテーマの準備、資料収集

コンテスト活動者課題実習

評価方法・対象・比重

参加出席、提出物によるP評価

主要教材図書
なし

参考図書 各自テーマに基づいた参考図書

その他資料

記載者書名欄 野中 慶子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053 科名 ファッション高度専門士科3年	単位 1単位
科目コード 500831 科目名 ファッションデザイン画ⅢA	授業期間 (前期)

担当教員(代表) : 岡本 あづさ	共同担当者 :
-------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

独自の発想力、デザインに対してのイメージをいかに具体的に表現していくかを考える

様々な発想の手法を探り、試し、実験して行きながら新たなデザインの可能性を考えて行く

改めて画材の特長、特質を知る事でデザインの表現テクニックを強化し自分独自の表現方法を探求して行く

【授業計画】

I. オリエンテーション

II. 画材研究

- 各種画材表現の特長、可能性、違いを知る事で幅広い表現のバリエーション
技法を知る（コンテストへ繋げる）

III. 紙からのデザイン展開

- A4紙を使用し創り出した「立体や形」からイメージを膨らませテキスタイルや
フォルムへと展開しデザインへと繋げて行く

IV. テーマからのデザイン展開

- 各自のテーマから様々なアイデアを出しオリジナルのテキスタイルを提案
(オリジナルテキスタイル)
実物素材を製作し、その素材をメイン素材にデザイン展開
(コンテストへ繋げる)

V. 音楽からのデザイン展開

- 音楽から受けるインスピレーションをデザインに落とし込む

【評価方法】

評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%

主要教材図書

参考図書 各分野での展示カタログやアーティストの作品集、ファッション誌、雑誌等。

その他資料 卒業生の参考作品など

記載者氏名 岡本 あづさ

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053 科名 ファッション高度専門士科 3年	単位 1単位
科目コード 500832 科目名 ファッションデザイン画ⅢB（選択）	授業期間 (後期選択)

担当教員(代表) : 岡本 あづさ	共同担当者 :
-------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

各自デザインに対してのメインテーマ、コンセプトを設定し、より具体的にそのイメージを表現する
様々なサブテーマとメインテーマを合わせていきながらデザインバリエーションの幅を広げて行く
デザインの表現テクニックを強化し、プレゼンテーション方法を常に考え提案していくことを目標とする

【授業計画】

- | | |
|------------------------------|---|
| I. テーマからのデザイン展開 | ・各自後期半期のデザインテーマ、コンセプトを設定し、テーマに対し
調べ、考え、研究することで自分のデザインの可能性を広げていく |
| II. 学内コンテスト | ・提案したいデザインを強くアピールする為の表現手法を探り形にしていく |
| III. テーマからのデザイン展開
(サブテーマ) | ・各自のメインテーマ（夏季課題）に各自自由なサブテーマを設定
2つのテーマから生れるデザイン展開、バリエーションの可能性を考える |
| IV. 校内ファッション画展 | ・オリジナルのデザインアイデアを習得した技術を使用し構成を工夫し
表現まとめていく |

（可能なタイミングでコンテストを課題の間に取り入れチャレンジしていく）

【評価方法】

評価基準:学業評価80% 、授業姿勢20%

主要教材図書

参考図書 各分野での展示カタログやアーティストの作品集、ファッション誌、雑誌等。

その他資料 卒業生の参考作品など

記載者氏名 岡本 あづさ

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド	12053	科名	ファッショングループ高度専門士科3年
科目コード	400100	科目名	アパレル品質論

単位	1単位
授業期間	後期

担当教員(代表)：吉村 とも子

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

アパレル製品の企画、設計、生産、流通における品質管理に関する知識の習得を目的とし、以下の①～③について講義、演習、実習、見学を通して理解させる。

- ①素材の特性を把握する為の物性試験や製品の実用性能を管理するための各種試験方法、評価法、基準値
- ②アパレル製品の取り扱い
- ③アパレル製品に関する法規制（表示関連、安全性関連）や規格

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. アパレルと品質	講義 2 コマ
・アパレルに求められる ・アパレルの製造工程管理 ・一般的品質管理の実施法、分析法 ・テキスタイルの品質評価法、および基準 ・染色堅牢度試験 ・寸法変化試験	講義・演習 4 コマ
2. アパレル製品の品質表示と法規制	講義 2 コマ
・義務表示 家庭用品品質表示法 繊維製品表示規程 雑貨工業品表示規程	
・関連する法規制 不当景品類及び不当表示防止法 安全性に関わる法規制 製造物責任法 等	
・任意表示	
3. アパレル製品の取扱い	講義及び実習 4 コマ
・耐洗濯性：家庭洗濯、商業洗濯 ウエットクリーニングとドライクリーニング など	
・特殊クリーニングについて ・保管 ・耐薬品性（しみ抜き実験） ・特徴のある素材とその取扱い方法	
4. アパレル製品の保証とクレーム	講義 1 コマ
・商品の保障とクレーム対策 ・クレーム事例	
5. 特殊クリーニング工場見学	見学 1 コマ
	計：14 コマ

評価方法・対象・比重

学業評価 80% 授業姿勢 20%とし、総合評価する

主要教材図書

教科書：ファッショングループ高度専門士科「アパレル品質論」文化出版局発行

参考図書

その他資料

記載者書名欄

吉村とも子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科名 ファッション高度専門士科 3年	単位 1単位
科目コード 604100	科目名 テキスタイル産業論	授業期間 後期

担当教員(代表) : 野沢 彰	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します) アパレル製品の主な材料であるテキスタイルを、編織の技法や工夫、染色加工、特殊加工など生産の観点から理解させる。また、工場、産地、見本市などのテキスタイル産業とアパレルが実際にどのように関わり、製品が作られて行くかを学ぶ。

テキスタイル産業について・・・・・・・・・・・・・・・・(1)

- ・業種と内容(講義)
- ・アパレルとの関わり(講義)

テキスタイル産地と見本市・・・・・・・・・・・・(5)

テキスタイル生産について・・・・・・・・・・・・(6)

- ・構造～織物とニット～(講義・実習・見学)
- ・デザイン～染色～(講義)
- ・布地と糸の関係(講義)

布地の物理的性能評価・・・・・・・・・・・・(2)

- ・布地の物性評価の意義と項目

評価方法・対象・比重

学業評価80% 授業姿勢20% による総合評価

主要教材図書

文化ファッション大系服飾関連講座①「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書 「ワークブック・アパレル素材論」文化服装学院教科書出版部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者氏名 野沢 彰

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科名 ファッション高度専門士科3年	単位 1単位
科目コード 400330	科目名 服装解剖学III（自由選択）	授業期間 半期（前期）

担当教員(代表) : 高見澤ふみ	共同担当者 : 足立美智子
------------------	---------------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します) 1・2年次で学習した人体の構造と運動を基礎とし、3次元計測による運動計測、人体の動きとパターンの関係について考察し、子供から高齢者までの体型とパターンに関する研究をさせる。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション(講義内容の説明)	14	
2	体型の経年変化(中年・シニアの体型把握)	17	
3	グループワーク説明 (グループ分け・3次元計測機による動態計測説明)	18	
4	3次元動態計測実習(シニアウェアデザイン実習)	19	
5	3次元動態計測実習(シニアウェアデザイン実習)	20	
6	校外授業 上野 国立科学博物館	21	
7	「人体 神秘への挑戦」見学	22	
8	3次元動態計測データ解説	23	
9	3次元動態計測データ分析、活用法	24	
10	グループワーク①	25	
11	グループワーク②	26	
12	グループワーク③	27	
13	プレゼンテーション(レポート提出)	28	

評価方法・対象・比重 S~C、F評価 学業評価: レポート…40%、グループ研究発表…30%、実習過程…10% 授業姿勢: 出欠状況…20%
--

主要教材図書 服装解剖学ノート(文化出版局)
参考図書 なし
その他資料 なし

記載者氏名 高見澤ふみ

2018 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科名 ファッション高度専門士科 3年	単位 2単位
科目コード 605000	科目名 アパレルマーチャンダイジング	授業期間 通年

担当教員(代表) : 波多野 辰美	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など

アパレル業界におけるマーチャンダイジング業務の実務を講義と実習により指導し、アパレルマーチャンダイジングの基礎知識を習得させる「実学」を目指す。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

(前期)

テーマ アパレルマーチャンダイジングの概要 講義 コマ数=7

- ・MDの5適とは
- ・ファッショナーマーケットの現状
- ・生産体制とMDスケジュール
- ・広義のブランド力とは
- ・マーケティング発想のデザインとは
- ・ファッショナーブランド構築の方法論
- ・カセット企画とは

テーマ ブランドマーチャンダイジング実践 実習 コマ数=6

既存のブランドの企画業務を企業と同様の手順で行う

- ・ブランドのターゲット設定
- ・ターゲットイメージマップ作成
- ・ブランドコンセプト設定
- ・MDマップ作成
- ・企画プレゼンテーション

(後期)

テーマ アパレル業界の計数管理 講義 コマ数=4

- ・VMDとSKU管理
- ・アパレル業界の計数管理
- ・売上予算作成からの生産計画
- ・アイテム別生産計画表

テーマ ブランド構築の実践 実習 コマ数=11

具体的な商業施設を想定したブランドマーチャンダイジング

- ・ターゲット設定と分析
- ・コンセプト設定
- ・イメージマップ作成
- ・生産計画表作成
- ・MDマップ作成
- ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重

出席 10% 課題 40% 授業内課題 30% 授業理解度 20%

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科3年	単 位 1 単位
科目コード 402020	科目名 CADパターンメイキングⅡ（選択）	授業期間 後期（ ）

担当教員(代表) : 高津 由規子	共同担当者 :
-------------------	---------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アパレル産業において工業化された設計・生産・製造のプロセスを認識し、生産技術の1分野である設計に活用される「アパレルCAD」システムを利用して、工業生産設計の流れと設計の考え方・手法・方法の理解を深め、設計システムの構築と管理の仕組み迄の内容を行う。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション・基本操作	16	
2	応用パターンメイキングVer. 1-1スカート展開	17	
3	応用パターンメイキングVer. 1-2スカート展開	18	
4	応用パターンメイキングVer. 1-3スカート展開	19	
5	スキャナーとトレース応用	20	
6	応用パターンメイキングVer. 2-1ジャケット	21	
7	応用パターンメイキングVer. 2-2ジャケット	22	
8	応用パターンメイキングVer. 2-3製品図	23	
9	マーキング・縫製仕様書	24	
10	応用パターンメイキングVer. 3-1囲み製図パンツ	25	
11	応用パターンメイキングVer. 3-2囲み製図パンツ	26	
12	応用パターンメイキングVer. 3-3パンツ製品図	27	
13	応用パターンメイキングVer. 4-1シャツブラウス	28	
14	応用パターンメイキングVer. 4-2ねじり	29	
15	グレーディング方法・仕方	30	

評価方法・対象・比重

テストは行わず授業内でのプリント提出・授業態度・配布プリントのまとめ方・出欠席・授業態度で評価

評価基準 学業評価50% 授業姿勢50%

主要教材図書	特になし
参考図書	特になし
その他資料	特になし

記載者氏名 高津 由規子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科名 ファッション高度専門士科 3年	単位 2 単位
科目コード 401200	科目名 生産管理各論 生産企画(選択)	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 宮澤 国博

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル産業の生産プロセスの内、メーカーにおける生産関連業務の専門知識を習得することを目的とする。

授業内容はアパレル生産担当者の業務範囲を業界関連図から読み解き、それぞれの分野で発生する各種管理活動について品質 (Q)・原価 (C)・納期 (D) それぞれの観点から体系的に学習する。海外生産の拡大から多様化する生産の現状を理解し、今後のアパレル生産の行方を考慮の上、各自でアパレル製品の生産企画を立案し発表する。

【授業計画】

I. ガイダンス (1コマ)

- ① 生産管理者の役割 生産管理と生産企画の違い

II. 生産の形態 (4コマ)

- ① アパレルメーカー・縫製工場それぞれの業務の流れと管理
- ② 生産管理の概要と業務の流れ
- ③ 委託生産とOEM/ODMの違い 商社の役割

III. 生産前準備の実務と管理 (4コマ)

- ① 生産計画と損益分岐点 資材発注
- ② 工場編成と外注管理 工賃設定

IV. 生産実行時の実務と管理 (3コマ)

- ① 指図書発行
- ② 納期管理 物流管理

V. 生産後処理の実務と管理 (4コマ)

- ① 検査・検品と倉庫業務
- ② 減増産処理と原価管理及び原価計算
- ③ 売価と原価の関係

VI. 生産企画 (7コマ)

- ① トレンド分析とマーケットリサーチ
- ② 生産企画書作成とプレゼンテーション

VII. 海外生産の基礎知識 (2コマ)

- ① アパレル貿易とは
- ② 世界のアパレル生産拠点 日本の輸出入の現状

VIII. グループ討議 (2コマ)

- ① アパレル生産の問題点を協議し、発表する

IX. 今後の生産管理とは (1コマ)

【評価方法】

筆記試験 (50%) +提出物 (20%) +プレゼンテーション (20%) +出欠席・授業への取り組み (10%)

主要教材図書

参考図書

その他資料 適宜プリント配布

記載者氏名 宮澤 国博

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科名 ファッション高度専門士科 3年	単位 1単位
科目コード 102400	科目名 グレーディング（選択）	授業期間 半期（後期）

担当教員(代表) :	共同担当者 : 佐久間 一夫
------------	----------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

グレーディングの基礎・知識・実務レベル・オペレーション操作方法の理解・習得

コマ	内 容	時間	詳細
1	ハンドグレーディングの説明（前身頃）	1.5	講義内容の説明、基礎（原型）展開
2	ハンドグレーディングの説明（後身頃）	1.5	基礎（原型）展開
3	ハンドグレーディングの説明（袖）	1.5	基礎（原型）展開
4	ハンドグレーディングの説明（衿）	1.5	基礎（原型）展開
5	CADグレーディングの説明（前身頃）	1.5	CADに置き換える（原型）
6	CADグレーディングの説明（後身頃）	1.5	CADに置き換える（原型）
7	CADグレーディングの説明（袖）	1.0	CADに置き換える（原型）
8	CADグレーディングの説明（衿）	1.5	CADに置き換える（原型）
9	CADグレーディングの説明（シャツ）	1.5	バーツ毎に処理
10	CADグレーディングの説明（シャツ）	1.5	バーツ毎に処理
11	CADグレーディングの説明（シャツ）	1.5	バーツ毎に処理
12	CADグレーディングの説明（シャツ）	1.5	バーツ毎に処理
13	CADグレーディングの説明（シャツ）	1.5	バーツ毎に処理
14	学年末試験（実技試験）	1.5	オペレーションの確認（シャツ）
15	グレーディングのまとめ	1.5	学年末試験の答え合わせと解説・総復習
	学年末試験（筆記試験）		習った所全部

評価方法・対象・比重

学年末試験・・・80% 小テスト・・・20%

主要教材図書 東レグレーディング・マニュアル (D0・S0・T0・R0)

参考図書 文化服装学院編・グレーディング書籍

その他資料 グレーディングの説明資料、パターン、他

記載者氏名 佐久間 一夫

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科名 ファッション高度専門士科3年	単位 1単位
科目コード 101520	科目名 ニットアパレル造形 II (選択)	授業期間 後期

担当教員(代表)：下村 みち代

共同担当者：御田 昭子

教育目標・レベル設定など

ニットの基礎知識の習得し、アパレルにおけるニット製品の製作工程や技術を学ぶ。

ニットに使用される素材・編み地について商品知識と共に学ぶ。

ニットアパレル造形（I）を基礎とし、（II）では家庭用手編み機を主に基礎編み作成、工業機による手横機基礎編み作成を行う。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

* 家庭用手編み機 (4.5 ピッチ 片板機)

- ・ 家庭用手編み機の構造と各部位の説明
- ・ 使用方法と使用上の注意

* 基礎編み 家庭用手編み機

- ① ゲージ差・・・ゲージ ダイヤルの理解 (編み目の変化)
- ② 三原組織・・・メリヤス パール リブの理解
- ③ 構造の理解・・・成型のための増減法 傾斜成型の引き返し法
- ④ 変化組織 (模様編み各種)・・・レース タック ジャカード 片畦 プレーティング J I S 記号
パンチカード使用柄
- ⑤ 手動式手横機・・・7 G 基礎編み 編み出しゴム止め 総リブ 2×1リブ 片畦 兩畦 等
- ⑥ ニット縫製…リンクリング(ネックライン縫製)

* 工業機概論

手編み → 家庭用手編み機 → 手動式手横機 → コンピュータ編み機

* 演習

- ①～⑥

評価方法・対象・比重

提出物…80%

授業姿勢・出欠席…20%

主要教材図書

ニットの基礎技術

参考図書

その他資料 ニットの実用知識 オリジナルプリント

記載者書名欄 下村 みち代

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科名 ファッション高度専門士科3年	単位 1単位
科目コード 101710	科目名 ニットアパレル造形(カット&ソー) I	授業期間 前期

担当教員(代表) : 西川 真令	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

美しいシルエットを作る立体裁断とパターンの理解

丸編みで立体裁断の基礎知識とカットソーの縫製知識を理解させる

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、

講義と実習内容

横編み 経編み 丸編みのニットジャージー素材の基礎知識と

美しいシルエットの立体裁断の考え方と各種ミシンの縫製技術の理解と習得。

トップデザイナーと服作りの概念

カットソー丸編み概論・・・パリコレや東京コレクションでの豊富な経験と知識の情報伝える

丸編みを中心としたニット素材のパターン製作と縫製知識の取得。

立体パターンの基本知識・・・バストダーツ無しの美しいシルエット・パターン製作の習得

立体裁断で基礎知識を理解させる

マチ針無しで縫い上げる縫製指導、合理的なパターンと縫製技術の指導

アウター、インナー、スポーツウェア、水着など就職拡大・・・カットソーの広がりから下着やスポーツウェアにも関心を持たせ 製品作りで自信を持たせ就職先を広げるようにする。

綿フライスW付けV衿・ダーツなしで美しいシルエットの立体裁断カットソー服作り W付けのV衿とバンダーランニング 縫製の応用として2, 3本針両振りミシンや各種バインダー、ロック引き(天地)縫い方とする。

多様なミシンの取得指導



評価方法・対象・比重

実技評価 S A B C

主要教材図書

洋書各種情報誌の使用

参考図書

その他資料 パリコレや東京コレクションで製品縫製した素材 やサンプルを参考見本とする

記載者書名欄

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科 3年	単 位 2 単位
科目コード 504330	科目名 コンピュータグラフィックⅢ	授業期間 (26)

担当教員(代表) : 佐谷 真樹

共同担当者 : 松尾

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

2年時までに習得したアドビ・イラストレーターを使ってのハンガーイラスト作成とその表現のレベルを上げより美しく精度の高い物を描ける様にする。また、描いたデザインデータの展開方法、先染柄やプリント柄の図案作成方法を学び、企画書としての提案力を高める。デザイン画もC.Gで描く事を学び、イラストとしての展開スピードのアップパリエーションの表現力を上げ、ビジュアル・プレゼンテーション作成技術を習得する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	Tシャツを描く2年時の復習	16	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
2	シャツを描く=身頃、衿、袖の作成	17	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
3	シャツを描く=釦・前立て・ステッチ・ポケット	18	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く
4	シャツを描く=肩ヨーク・切り替え・パーツ作成	19	スタイル画を描く=デザイン・アイテムの展開
5	シャツを描く=バックスタイル・デザイン展開	20	スタイル画を描く=色や柄を展開したイラスト
6	ディテールの作成=リブ・シャーリング・フリル・ペプラム	21	プレゼンテーションの表現
7	ジャケット&ボトムを描く(デザインの効果的な展開)	22	デザイン企画書の制作
8	柄の作成=ストライプ・チェックを作る	23	デザイン企画書の制作
9	柄の作成=プリント柄&モノグラムを作る	24	デザイン企画書の制作
10	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	25	デザイン企画書の制作
11	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	26	デザイン企画書の制作
12	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	27	
13	ベルト、バックルを描く=金属の表現、レースアップ表現	28	
14	ブラシの使い方を習得=チェーンやテープの表現、	29	
15	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース	30	

評価方法・対象・比重

課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷真樹

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科名 ファッション高度専門士科 3年	単位 1単位
科目コード 300950	科目名 アクセサリーa (選択)	授業期間 後期

担当教員(代表) : 中川 清美	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。新しい素材を取り込み服とのコーディネートを意識したオリジナリティの高いアートアクセサリー制作、そして服作りのヒントにと意識している。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. アートアクセサリー鑑賞レクチャー

参考作品の素材説明とアイディア提案

樹脂の扱い方 アメリカンフラワーの扱い方説明

2. アートアクセサリー制作実習

アクリル絵の具、助剤について 塗料を使って金属の腐食した感じを出す方法の説明・中川作品鑑賞

3. アートアクセサリー制作実習

アンティークボタン ブレードの鑑賞を通して 19世紀モードについて

4. アートアクセサリー製作実習

アールヌーボ・デコのジャンクアクセサリー鑑賞を通して 20世紀モードについて

5. アートアクセサリー製作実習 仕上げ

シルバー粘土、リング制作実習

6. シルバー粘土について、特性・扱い方の説明

制作実習

7. シルバー粘土リング制作実習

作品について仕上げ・説明

評価方法・対象・比重

作品提出 70%・授業態度 20%・出席 10%

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科名 ファッション高度専門士科 3年	単位 1単位
科目コード 500500	科目名 造形演習（選択）	授業期間 前期

担当教員(代表) : 牧かほり	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など
発想-表現-コミュニケーション 3つを連動させながらクリエーションの力をつける。
特に自分自身を見つめ、コンセプトをしつかり組み立てる力を養う。制作の姿勢が社会や世界に向いていること。
発想力、（特にグラフィックにおける）表現力、伝える力（プレゼンテーションスキル）の強化を目指します。

授業概要=
発送法、デザインの知識、プレゼンテーション方法などをそれぞれの課題の中で学んでゆく。
<ul style="list-style-type: none">・ 伝わるポートフォリオの作り方・ 伝わるデザイン・ 紙立体からのデザイン発想・ 粘土立体からのデザイン発想・ コラージュによるストーリーの展開・ ことばの演習 etc.

評価方法
提出物／A, B, C, F

主要教材図書
参考図書

その他資料
記載者書名欄

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053 科名 ファッション高度専門士科 3年	単位 1単位
科目コード 200220 科目名 アパレル染色演習Ⅱ	授業期間 半期（前期）

担当教員(代表)：伊藤 望	共同担当者：吉村 とも子
---------------	--------------

概要（教育目標・レベル設定など 200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

1、2年次で学んだ素材や染色についての知識や技術をもとに、浸染・捺染の応用的な技法を習得する。

それにより発展的なテクスチャー表現を身に付け、アパレル作品の企画、制作力の強化に結びつける。

1. ガイダンス ・授業内容について	(0.5コマ) (講義)
2. 酸性染料の三原色混色によるカラートライアングル表の作成 ・酸性染料の特徴 ・酸性染料の浸染法 ・三原色の配合比率で作成できる色	(1.5コマ) (実習)
3. 天然染料による染色 ・天然染料の種類と特徴 ・天然染料の色素抽出法、浸染法、媒染法	(2コマ) (実習)
4. 色出し実験 ・計画した色に近づけるための染料混色実験	(2コマ) (講義・実習)
5. 実物染色 ・色出し実験データに基づく布（製品含む）の染色	(2コマ) (講義・実習)
6. 簡易スクリーンプリント① 顔料樹脂染料のプリントおよび特殊プリント加工 ・スクリーンプリントの仕組み ・量産プリントの版式と生産工程 ・顔料樹脂染料と特殊プリント加工との比較	(3コマ) (講義・実習)
7. 簡易スクリーンプリント② 天然染料の模様表現 ・天然染料と繊維の染色適性による染色性の違い ・豆汁を用いた濃染処理による染色性の違い	(1コマ) (講義・実習)
8. 簡易スクリーンプリント③ 顔料抜染プリント ・抜染プリントの仕組み ・抜染プリントの特徴	(2コマ) (講義・実習)

評価方法・対象・比重

学業評価 70%、授業姿勢 30%

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

記載者氏名 伊藤 望

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科名 ファッション高度専門士科 3年	単位 2単位
科目コード 900230	科目名 ファッション英会話Ⅲ（選択）	授業期間 通年

担当教員(代表) : ALISON, Vaughan	共同担当者 : 薩田 須美子
----------------------------	----------------

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。） 英語をツールにしたコミュニケーションがとれるように、英語の運用力をつけることを目標とする。 英語の知識に関係なく、授業に参加して学習することができるよう、文法中心ではなく体験的なクラス運営を試みる。

1	Introduction	オリエンテーション	
2			
3	UNIT 8 WHERE DID YOU GET IT?	お店、カフェなどの描写	
4			
5			
6	UNIT 9 HOW DO YOU MAKE IT?	順序だててものを作る方法を指示する。	
7			
8			
9	UNIT10 HOW OFTEN DO YOU GET A HAIR CUT?	日常の生活を表現する	
10			
11			
12	UNIT 11 WHAT'S THE PURPOSE OF YOUR VISIT	海外旅行/まとめ	
13			
14	Summer Report	夏休みの報告	
15	UNIT 14 WHERE IS THE TICKET AGENCY?	道案内	
16			
17	UNIT 17 HOW DOES IT FIT?	ショッピング	
18			
19	UNIT 19 DO YOU HAVE WORK EXPERIENCE?		
20		就職活動	
21			
22	Resume	履歴書	
23			
24	UNIT 20 BREAK A LEG! Describing Fashion	アイテム、色、柄、素材、スタイルなどを表現する文型、語彙の再確認コンセプト、将来の展望などを入れて自分の作品発表へ繋げる。	
25			
26	ORAL PRESENTATION PREP.	プレゼンテーションの準備	
27	ORAL PRESENTATION	各自の卒業制作の作品を英語で説明する。	

評価方法・対象・比重

出席状況 (40%)、まとめのテスト (30%)、プレゼンテーション・ライティング (30%) を総合して評価する。

主要教材図書・参考図書・その他資料等

Fashionable English Nan' un-do

記載者署名欄 薩田 須美子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科名 ファッション高度専門士科3年	単位 2 単位
科目コード 900830	科目名 フランス語Ⅲ（選択）	授業期間 通年

担当教員(代表) : 平野 佐和

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

毎回フランス語の発音・表現に親しみながら、基本文法の理解に基づく平易な文章読解および日常会話に必要なスキルの向上を目指す。講義では視聴覚教材も活用させながら、現代のフランスにおける生活文化（ファッション・香り・音楽等含む）も題材として取り上げる。文化の多様性に意識を向け、母国語とは異なる言語の仕組みや発音の特徴を興味を持って意識できる機会を多く設ける。目標レベルは、実用フランス語技能検定試験5～4級。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	自己紹介／修得レベルチェック	16	詳しく説明する
2	他人を紹介する	17	過去の状態・習慣を語る 1
3	活動内容を伝える	18	過去の状態・習慣を語る 2
4	嗜好を伝える	19	計画・未来について語る 1
5	年齢・所有の表現	20	計画・未来について語る 2
6	家族を紹介する	21	映画の中のフランス語
7	行き先と交通手段	22	同時進行行動の表現
8	可能性の表現 1	23	受動態表現
9	可能性の表現 2	24	義務・願望について語る
10	過去にしたことを語る	25	総復習 1
11	目的語を代名詞で表現する	26	総復習 2
12	強調表現	27	学年末テスト
13	日常生活を語る	28	
14	夏期課題チェック	29	
15	比較表現	30	

【評価方法】

授業時課題40%+夏期課題10%+学年末テスト50%

主要教材図書 『アラカルトでフランス語!』(Le français à la carte)／株式会社 朝日出版社

参考図書

その他資料

記載者氏名 平野 佐和

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科 3年
科目コード 947300	科目名 コラボレーションc(自由選択)

単 位	1単位
授業期間	通年

担当教員(代表) : 野中 慶子

共同担当者 :

教育目標・レベル設定など

3年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究し、外部講師、企業とのコラボレーション活動により自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。あわせて、ビジネス戦略にあわせた作品制作。
個性を生かした表現方法を身につける。

授業概要

1 コラボレーション企画 ···· 10コマ

ブランディングから作品制作まで

2 商品企画 ···· 3コマ

商品のプロモーション、販売、プロダクト

3 作品撮り ···· 2コマ

作品撮影を通し、自分の作品のプロデュースをする

※ 担当講師はアパレル企業従事者に依頼予定

評価方法・対象・比重

参加出席、提出物によるP評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 野中 慶子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052 科名 ファッション高度専門士科 3年	単位 2単位
科目コード 980230 科目名 特別講義・キャリア開発Ⅲ	授業期間 通年

担当教員(代表)： 野中 慶子	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

3年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究し、平面作図からだけのデザインではなく立体からもとらえられる様、自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。デザイン発想から作品製作まで個性を生かした表現、テクニックの育成をする。各専門分野の方々との出会いを多くし物事に対する洞察力を養う。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、デジタルプリント……………飯塚 有葉 氏 (1)
オリジナルプリント製作方法について
- 2、デザイナーの仕事 I……………宮前 義之 (1)
クリエイターとしての商品企画
- 3、テキスタイル情報……………川上 淑子 氏 (2)
素材及びトレンド解説
- 4、デザイナーの仕事 II……………黄 寅 氏 (1)
デザイナーとしての世界観とビジネス展開
- 5、ビジネスコミュニケーション……………東條 文千代 氏 (2)
グループディスカッション・コミュニケーション能力
- 6、就職対策……………吉田 康成 (1)
ポートフォリオ制作
- 7、ユニフォームの基礎知識……………佐古 かがり 氏 (1)
様々なワーキングウェアとその用途
- 8、染色工場見学……………伊藤 望 氏 (2)
(株)川合染工場見学
- 9、毛皮について……………梨本 チエ子 (2)
作品製作における知識とテクニック
- 10、ドレーピングセミナー……………樋口 吉徳 氏 (2)
コレクションを読み解く
- 11、ビジネスコミュニケーション……………二上 武生 氏 (2)
グループディスカッション・コミュニケーション能力
- 12、品質管理とは……………吉村 とも子 氏 (2)
日本ラボテック(株)見学
- 13、トレンド情報……………WWD 未定 (2)
テキスタイルからグローバルな世界
- 14、民族服……………吉村 紅花氏 (1)
民族衣装から現代衣装まで
- 15、ビジネスコミュニケーション・就職対策……………池田 衛 氏 (1)
履歴書の扱い(インターンシップ用)
- 16、ビジネスコミュニケーション・就職対策……………池田 衛 氏 (1)
電話の対応、訪問と応対、面接(圧迫面接)

評価方法・対象・比重

出欠・感想文・提出物による評価 P評価

主要教材図書

なし

参考図書 なし

その他資料 各講師による資料

記載者書名欄 野中 慶子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科 3年	単 位 2単位
科目コード 945010	科目名 インターンシップ I (自由選択)	授業期間 通年

担当教員(代表) : 野中 慶子	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。

各自希望するインターンは探していくことが条件。アポを取り、審査を受けて希望するデザイナーブランド企業、デザイン事務所、アパレルメーカー、テキスタイル企業、出版等関連企業も対象として実務体験をする。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 期間(基本は2週間分)、時期は研修目的、受け入れ先の状況により決める。
- 受け入れ先は、基本的に学生本人が希望の会社を選び、連絡を入れる。
報告を受けた後、インターンシップ書類を制作。
- 研修中は指導教員と定期的にミーティングを行い、受け入れ先での研修内容、進捗状況などを報告しアドバイスを行う。

評価方法・対象・比重

スケジュール管理出欠及びレポート提出 P評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 野中 慶子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054 科名 ファッション高度専門士科 4年	単位 12単位
科目コード 001031 科目名 アパレル造形 III	授業期間 前期・後期

担当教員(代表)： 朴澤 明子 共同担当者： 太田 るみ子

教育目標・レベル設定

4年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究するとともに広い意味で自己の可能性を発見し、創造性の領域を広げる。デザイン発想から作品制作のプロセスの中で個々の目的に応じて個性を生かした表現・テクニックの育成をする。

授業概要

アパレル造形 論	001031・001032 (III A・III B)	前期 1単位	後期 1単位
アパレル造形 演習 デザイン	001131・001132 (III A・III B)	前期 2単位	後期 2単位
アパレル造形 演習 実技	001331・001332 (III A・III B)	前期 2単位	後期 2単位
アパレル造形 ドレーピング	001231・001232 (III A・III B)	前期 1単位	後期 1単位

1. プライベートコレクション Part I・II (前期・後期)

- ・8～10体製作・・・デザイン・パターン・実物制作・発表（ショーまたは展示）

2. ドレーピング (前期・後期)

- | | | |
|---------------------|------|-----------------|
| ・パンツ | (前期) | 9AR レギュラーパンツボディ |
| ・ジャケット
(キモノスリーブ) | (前期) | 文化ヌードボディ |
| ・コート | (後期) | 文化ヌードボディ |
| ・ニューフォーマル | (後期) | 文化ヌードボディ |

3. コンテスト作品

評価方法・対象・比重

- ・アパレル造形論・・・ポートフォリオ HW試験 (90%) プrezentーション (10%)
- ・デザイン・・・制作作品 (80%) 実技試験 (20%)
- ・実技・・・制作作品 (100%)
- ・ドレーピング・・・課題 (70%) 実技試験 (20%) プrezentーション (10%)

主要教材図書

文化ファッション体系、服飾造形講座2「スカート・パンツ」アパレル生産講座「立体裁断基礎・応用編」
服飾造形講座5「コート」

参考図書 ファッション情報誌、WWWD、コレクションビデオ、他

その他資料 各種実物標本、各種参考パターンメーキングテキスト、オリジナルテキスト他

記載者書名欄 朴澤 明子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054 科名 ファッション高度専門士科4年	単位 1単位
科目コード 101720 科目名 ニットアパレル造形（カット&ソー）II (選択)	授業期間 後期

担当教員(代表)：西川 真令

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

美しいシルエットを作るパターンの理解と創造的な縫製

丸編みカットソーの立体裁断の考え方と企業向け縫製テクニックの見本帳作り

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、

他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、

講義と実習内容

横編み 縦編み 丸編みのニット素材の縫製知識

美しいシルエットの立体裁断の考え方と各種ミシンの縫製技術の理解と見本帳作り。

デザインから作図と縫製実習

丸編みデザイン概論・・・パリコレや東京コレクションの比較考察

美しいシルエットを作る基礎的な考え方

丸編みを中心としたニット素材のパターン製作と縫製知識の取得。

①デザイン縫製イメージの基礎となる各種ミシン縫製技術の見本帳作り縫製考察のアドバイス

②製品染めポロシャツ作図と縫製・・・バストダーツ無しの美しいシルエット・パターン製作の習得
リブ編み立てと丸編みのハイレベルの縫い方指導をもって教える。

製品染め企画としてオール綿糸のリブ仕様、前立て明き、玉縁ポケット作り

③ノーダーツで美しいシルエットのワンピースを立体裁断のカッティングテクニックと縫製技術
デザイナー＆パターンナーとしてトップレベルの知識を教える。



評価方法・対象・比重

実技評価 S A B C 部分縫い、製品染めポロシャツ、ドレスの3点縫い上げ

主要教材図書

洋書各種情報誌

参考図書 デザイナーアーカイブ資料

その他資料 パリコレや東京コレクションで製品縫製した素材 やサンプルを参考見本とする

記載者書名欄

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド 12054	科 名 ファッション高度専門士科 4年	単 位	2 単位
科目コード 200230	科目名 アパレル染色演習 III (選択)	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 真田玲子	共同担当者 :
-----------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アパレルデザインを行う上 重要である素材の染色加工に関する専門知識を養う。

理論・技法・工程など実技を通し習得する。 時代に沿った 各種表現方法を分析し構成する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ガイダンス 授業内容 課題説明	16	卒業制作コンテスト等の素材作り デザインワーク
2	テキスタイル商品 参考作品の紹介	17	//
3	布地の造形要素の理解オパール加工実験アルミ溶解編	18	オリジナルテキスタイル企画制作
4	//	19	//
5	オパール加工実験 セルロース 溶解編	20	//
6	//	21	習得した技法を駆使、目的に沿った生地を制作する
7	シルクスクリーン(製版) 印捺にて 箔加工	22	//
8	//	23	作業工程を見直し 必要量の生地を制作する
9	シルクスクリーン(製版) 印捺にて 特殊プリント	24	//
10	//	25	製品図 工程表をまとめ
11	シルクスクリーン(製版) 印捺にて フロッキー加工	26	//
12	//	27	制作した生地の 発表 プрезентーション
13	藍染 ヒートセット 絹塩縮など 表面効果の	28	//
14	//	29	
15	サンプル制作や アパレル用素材の準備	30	

評価方法・対象・比重

試験 0% 1. 課題 80% 2. 授業態度 5% 3. 出席 10% 4. 提出期限 5%

主要教材図書

参考図書

その他資料 各種技法の作業工程 レシピ配布

記載者氏名 真田玲子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科 4年	単 位 2 単位
科目コード 200800	科目名 テキスタイル企画演習（選択）	授業期間 通年

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

デジタルプリント機器を利用して布地制作を通してテキスタイルの知識・理解を深める。アパレルに利用されるテキスタイルを企画するという視点から、主にプリントの企画をたて、プレゼンテーションする技術・能力を身につける。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. デジタルプリントの概要：講義 1コマ

- ①デジタルプリントの概要 ②様々なプリント手法とその特徴

2. プリント企画：講義 1コマ

- ①プリント企画について ②ターゲットの設定・テーマ・コンセプトの確立・カラーイメージについて

3. デジタルプリントによるオリジナルテキスタイルの作成企画マップの作成：講義・実習 9コマ

- ①Photoshop を使った送りつけの方法 ②画像合成の方法
③転写プリント・ダイレクトプリントによるサンプル作成 ④写真・デザイン画へのマッピング方法

4. プリント生地の仕上げ：実習 2コマ

5. 織の制作工程と工場見学：講義・見学 3コマ

6. ハーフステップ柄の作成方法：講義・実習 4コマ

- ①ハーフステップ柄の特徴 ②ハーフステップ柄の作成

7. 企画プレゼンテーションの作成：講義・実習 7コマ

- ①Power Point の基本的な使い方 ②企画プレゼンテーションの作成
③発表・講評

評価方法・対象・比重

学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書 プリント

参考図書

その他資料用ソフト Adobe Photoshop CC2018/Adobe Illustrator CC2018/Power Point

記載者書名欄 飯塚 有葉

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12054	科名	ファッショングループ高度専門士科 4年	単位	1 単位
科目コード	504600	科目名	コンピュータワーク（生産管理）（選択）	授業期間	前期

担当教員(代表)：宮澤 国博

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

応用的なアパレル CAD の使用方法と、アパレル CAD を中心とした様々なソフトウェアを関連づけて活用できることを目標とする。同じ資料を様々な方法で作成することにより、ソフトウェアのメリット、デメリットを認識する。
3次元仮想ボディデータ作成や、仮想着装シミュレーションなど最先端の CAD オペレーションを体験する。

【授業計画】

使用ソフト：東レ ACS 株式会社製クレアコンポシリーズ（パターンマジック、マーカーマジック、サイフォームマジック）、
クレアコンポⅡ（パターンマジックⅡ、トルソー）

Microsoft (Excel、power point)、adobe (Illustrator)

I. CAD に関連付けたコンピュータとの付き合い方（1コマ）

- ① CAD の活用方法
- ② ファイルの関連性

II. 製品図作成（1コマ）

- ① 画像トレースによる製品図作成
- ② ボディースケールによる製品図作成

III. CAD データの連携（2コマ）

- ① CAD データの出力方法
- ② 出力先でのデータの取り扱い

IV. エクセルによる縫製仕様書フォーマット作成（1コマ）

- ① エクセルの使用方法
- ② 基本枠の作成
- ③ 入力規則の使用方法

V. サイフォームマジックによる縫製仕様書作成（1コマ）

- ① パターンマジックによるデータ準備
- ② サイフォームマジックによる縫製仕様書作成

VI. 個人課題作成（3コマ）

- ① 各自のデザインに合わせ帳票類を作成する

VII. 3次元仮想着装（3コマ）

- ① 仮想ボディの作成
- ② 仮想着装シミュレーション

VIII. まとめ（1コマ）

- ① 今後の CAD データの活用方法について

【評価方法】

提出物（マイコレクションの中から1デザインを選び、工業用パターン、縫製仕様書を作成）70%
出席率、授業への取り組み30%

主要教材図書

参考図書

その他資料 適宜プリント配布

記載者氏名 宮澤 国博

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科名 ファッション高度専門士科 4年	単位 1 単位
科目コード 401500	科目名 生産管理各論 製品企画（選択）	授業期間 前期

担当教員(代表) : 村瀬 史憲	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

商品作成の方法とルールを実践的に学習することで製品企画実務の理解をするとともに実務レベルでの簡単な実践を行う。専門的内容を理解しやすく簡略化したうえで、一般論として学生が受け入れられ理解できる講義内容の設定とする。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	
2	MD論：プランディングについて	17	
3	商品企画実務：指示書作成	18	
4	商品企画実務：指示書作成	19	
5	生産管理各論：表示義務について	20	
6	生産管理各論：製品検査について	21	
7	商品企画実務：1STサンプル確認	22	
8	生産管理各論：コスト計算について	23	
9	商品企画実務：素材選定	24	
10	生産管理実務：スケジューリングとサンプル依頼	25	
11	販売について	26	
12	生産管理各論：外注について	27	
13	レポート作成、総括	28	
14		29	
15		30	

【評価方法】

学業評価 50%、授業姿勢 50%

主要教材図書

参考図書

その他資料 オリジナルテキスト

記載者氏名 村瀬 史憲

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科名 ファッション高度専門士科 4年	単位 2単位
科目コード 402300	科目名 ニットデザインシステム演習（選択）	授業期間 通年

担当教員(代表)：前田 亜希子	共同担当者：土井 健太郎
-----------------	--------------

教育目標・レベル設定など

工業横編ニットの生産システムの理解、およびコンピュータ制御横編機、デザインシステムの使用方法を習得し、ニット作品の製作を通じて、アパレル業界におけるニット製品のデザイン手法や布帛とのバリエーションの組み方を考えられる人材を育てる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

・コンピュータ制御横編機概論（前期）

手編みと工業機、丸編と横編の違いと特徴、編機仕様、編針、ゲージ、編地、素材等の説明

・デザインシステム実習 I（前期）

使用機種：SDS-ONE、APEX3（島精機製作所）

コンピュータグラフィックス概論、コンピュータニットデザインの流れ

編地分解と編組織の理解

コンピュータ横編機の制御プログラミング

・編機の操作方法

使用機種：SES102FF7G、SSG122SC12G、NewSES-S・WG183
SWG-FIRST124・153

・デザインシステム実習 II（前期）

意匠図－編目図－編成図－デザインシステム色番号－プログラミング－編立の流れの理解
ジャカード、ケーブル、レース、タック、リンクス等基本編組織の編立実習、

・ホールガーメント編立デモンストレーション（後期前半）

使用機種：SDS-ONE、APEX3、SWG-FIRST153、NewSES-S・WG183
ホールガーメントの制御プログラミング、編立方法の実習、ループシミュレーション実習

・マイコレクションニット作品製作（後期）

評価方法・対象・比重

提出物（前期レポート・後期マイコレ作品）…80%
出欠席・授業姿勢…20%

主要教材図書

工業ニット

参考図書

その他資料

「SDS自動制御システム取扱説明書」（株）島精機製作所編

記載者書名欄 前田 亜希子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科 4年	単 位 2 単位
科目コード 504340	科目名 コンピューターグラフィックIV(選択)	授業期間 (28)

担当教員(代表) : 佐谷 真樹

共同担当者 :

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づき HP上で公開します)
 3年時までに習得したイラストレーターによる表現技術を用いて、市場性を踏まえた現実的な企画立案と
 ビジュアル・プレゼンテーションを前提とした企画書作成を学ぶ。就職活動の為のプレゼンテーション資料として
 使える様な企画書を制作する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	授業内容の説明(選択の為)	16	生地スワッチを利用してデザイン画に柄付け
2	Tシャツの簡単な描き方	17	企画書の構成についての解説
3	ハンガーイラストを描くパーツの確認	18	「コート」をテーマに企画書作成
4	ハンガーイラストを描くパーツの確認	19	「コート」をテーマに企画書作成
5	ディテール作成を学ぶ(フリル・シャーリングetc)	20	「コート」をテーマに企画書作成
6	ブラシで表現する付属の作成	21	「コート」をテーマに企画書作成
7	デザイン画の為の顔とボディーの作成	22	「コート」をテーマに企画書作成
8	デザイン画の為の顔とボディーの作成	23	「コート」をテーマに企画書作成
9	作成したデザイン画ボディーに服を描く	24	「コート」をテーマに企画書作成
10	作成したデザイン画のデザイン展開	25	「コート」をテーマに企画書作成
11	課題=「マリーン」をテーマにデザイン提案書の作成	26	「コート」をテーマに企画書作成
12	「課題=「マリーン」をテーマにデザイン提案書の作成	27	「コート」をテーマに企画書作成
13	課題=「マリーン」をテーマにデザイン提案書の作成	28	「コート」をテーマに企画書作成
14	課題=「マリーン」をテーマにデザイン提案書の作成	29	
15		30	

評価方法・対象・比重

企画書<スキル・デザイン・表現力>・出席率

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷真樹

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド 12054	科名 ファッション高度専門土科 4年	単位 2 単位
科目コード 504000	科目名 グラフィックワーク（選択）	授業期間 (27)

担当教員(代表) : 佐谷 真樹	共同担当者 : 李
------------------	-----------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します） アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーライラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の図案作成などを学び、ビジュアル・プレゼンテーション（企画書）製作を習得する。また、デザイン画をC.Gで描く事、バッグやベルト等の小物アイテムを描く事を学び、デザイン・企画の展開スピードのアップと「見る人にとってわかりやすい見せ方」を習得する
--

コマ	内 容	コマ	内 容
1	Tシャツイラストの簡単な作成でパスを理解	16	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
2	シャツを描く=身頃、衿、袖の作成	17	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
3	シャツを描く=ステッチ・ポケットの作成	18	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く
4	シャツを描く=肩ヨークや切り替えパーツ作成	19	スタイル画を描く=デザインを展開したイラスト
5	ディテールの作成=フリル・ペプラムの表現	20	スタイル画を描く=アイテムを展開したイラスト
6	ディテールの作成=ブラシでの表現（チェーンベルトなど）	21	スタイル画を描く=色や柄を展開したイラスト
7	ジャケット&ボトムを描く（フロント&バックスタイル）	22	デザイン企画書の制作
8	ジャケット&ボトムを描く（フロント&バックスタイル）	23	デザイン企画書の制作
9	柄の作成=ストライプ・チェックを作る	24	デザイン企画書の制作
10	柄の作成=プリント柄&モノグラムを作る	25	デザイン企画書の制作
11	ハンガーライラストでの商品展開（レジュメ）の作成	26	デザイン企画書の制作
12	ハンガーライラストでの商品展開（レジュメ）の作成	27	デザイン企画書の制作
13	ハンガーライラストでの商品展開（レジュメ）の作成	28	
14	ベルト、バックルを描く=金属の表現、レースアップ表現	29	
15	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース	30	

評価方法・対象・比重 課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書
参考図書 なし
その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷真樹

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科名 ファッション高度専門士科 4年	単位 1単位
科目コード 300960	科目名 アクセサリーb (選択)	授業期間 後期

担当教員(代表) : 中川 清美	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

アクセサリーは服を引き立てるための小道具である。新しい素材を取り込み、卒業制作、服のトータルコーディネートを意識したオリジナリティの高いアートアクセサリー制作。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. オリエンテーション
アートアクセサリー鑑賞 素材説明
樹脂の扱い方 特徴の説明 ペーパーデザイン
2. アートアクセサリー制作実習
アクリル絵の具、助剤 サビカラーの特徴 扱い方説明 制作実習
3. アートアクセサリー制作実習
アンティークボタン ブレード鑑賞
4. アートアクセサリー制作実習
アジアのアクセサリー鑑賞 制作実習
5. アートアクセサリー製作実習
6. アートアクセサリー制作実習
7. アートアクセサリー制作実習

評価方法・対象・比重

作品提出 70%・授業態度 20%・出席 10%

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 中川 清美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科名 ファッション高度専門士科 4年	単位 1単位
科目コード 304200	科目名 雑貨企画 (選択)	授業期間 (前期)

担当教員(代表) : (株)ギャレット(角谷)

共同担当者 : 李、君村、千田、橋本、鶴田、山内、諏訪

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

服飾雑貨(靴下、バッグ、帽子、アンダーウェア)の企画・生産までの流れ。プランディング(メンズ・レディース)方法。

靴下の企画、デザイン、指示書作成、サンプル作成、展示会出展までのグループワークショップ。

コマ	内容
1	オリエンテーション、靴下の基礎とデザイン
2	ブランドの立ち上げ、グループ作業
3	展示会視察
4	プレゼンテーション、指示書の作り方、柄練習
5	素材確定、デザインについて
6	パッケージデザインについて
7	靴下指示書作成、パッケージ提出
8	鞄の特性について、デザイン実習、ディスカッション
9	帽子の特性について、デザイン実習、ディスカッション
10	アンダーウエアの特性について、グラフィックデザイン
11	プランディングについて
12	カジュアルファッションビジネスの変遷
13	ブランド立ち上げについて
14	ポートフォリオの作り方について
15	展示会視察

評価方法・対象・比重

授業態度、出席率 50% 提出物 50%

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 角谷裕邦

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド 12054	科 名 ファッション高度専門士科 4年	単 位 1・1 単位
科目コド 503401	科目名 カメラワーク A・B (選択)	授業期間 年間
503402		

担当教員(代表) : 尾島 敦

共同担当者 :

教育目標・レベル設定など

前、後期を通じて、4年間を通して学んだ技術を駆使し制作した作品（服）を写真を撮ることによって、新たな自己表現力を身につける。

- 1: 写真を撮る習慣をつけることで。自分の作品に対する写真的アプローチを考察する。
- 2: 写真的アプローチするため、カメラの基礎知識を習得。
- 3: 照明機材を使用して、より高いレベルで撮影出来るように操作を学ぶ。
- 4: Photoshop での画像調整を学習
- 5: 後期課題作成企画の説明
- 6: 企画書に基づき撮影内容について個別に打ち合わせ。
- 7: 撮影期間中はクラスで協力し合いスムーズな撮影現場での行動を学ぶ。
- 8: 撮影した写真を元に各々が自由に制作。

評価方法・対象・比重

出欠 制作物

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 尾島敦

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科 4年	単 位 1 単位
科目コード 947400	科目名 コラボレーションd(自由選択)	授業期間 通年

担当教員(代表)： 朴澤 明子	共同担当者： 太田 るみ子
-----------------	---------------

教育目標・レベル設定

4年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求し、外部講師・企業とのコラボレーション活動により自己の可能性を発見する。また、創造性の領域を広げ個性を生かした表現方法を身につける。

授業概要

授業では経験出来ない、企業やデザイナー、アーティストとの共同制作・作業及び実務体験。

1、JFW コラボレーション（フォルムプレゼンテーション）

産地との素材協力を得て作品制作

2、ロレアルコラボレーション

卒業制作ショーにおけるヘアメイクの企業の協力によるコラボレーション
ポートフォリオ制作まで

3、ISKO DENIM AWARDS

イタリアのデニムメーカー「ISKO社」とのコラボレーション企画
デザインから実物制作までおこないイタリアにて発表

4、外部美容サロンとのコラボレーション

外部美容サロン、ファッション流通科ファッションメイクアップコース、ファッションモデルコース
とのコラボレーション
ポートフォリオ制作まで

5、VFコーポレーションとのコラボレーション

世界最大級のライフスタイルアパレル企業との企画提案

6、スワロフスキージャパン社とのコラボレーション

評価方法・対象・比重

1 単位分出席の参加でP評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 朴澤 明子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科名 ファッション高度専門士科 4年	単位 2単位
科目コード 900240	科目名 ファッション英会話 IV(選択)	授業期間 通年

担当教員(代表) : 薩田 須美子

共同担当者 :

科目概要(教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)

ファッション英会話 I, II および III を履修した学生を対象としたコース。プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通して会話の疑似体験ができるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。

1	イントロダクション	15	夏休みの報告
2	Paul Smith	16	Vivien Westwood
3		17	
4	ゴールデンウィークの報告	18	Shopping
5	Paul Smith／自分への Q&A	19	
6		20	
7	意見を求める	21	人物描写
8		22	
9	電話での会話	23	ファッションアイテムの柄、色、素材
10		24	
11	CV	25	Fashion Show
12	面接	26	
13		27	プレゼンテーション準備
14	まとめ	28	プレゼンテーション

評価方法・対象・比重 : 出席状況(40%)、まとめのテスト(30%)、プレゼンテーション・ライティング(30%)など総合して評価する。

主要教材図書・参考図書・その他資料等 : 担当教員の準備する配布物

記載者署名欄 薩田 須美子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054 科名 ファッション高度専門士科 4年	単位 1単位
科目コード 980040 科目名 特別講義 IV	授業期間 通年

担当教員(代表)：朴澤 明子	共同担当者： 太田るみ子
----------------	--------------

教育目標・レベル設定など

4年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究するため、各専門分野の方々との出会いを多くし物事に対する洞察力を養う。レギュラー授業には含まれない関連分野の専門知識を習得する。

授業概要

- 1、テキスタイルトレンド情報……………川上 淑子氏 (1)
(ブルミエールヴィジョン、ミラノウニカからの情報)
- 2、デザイン発想……………宮前 義之氏 (1)
(デザイナーの仕事)
- 3、WWD トレンド情報……………未定 氏 (1)
(各コレクションからの情報)
- 4、デザイン発想……………田中 崇順氏 (1)
(ドレーピングからのデザイン発想)
- 5、ポートフォリオ制作……………吉田 康成氏 (2)
(各自のポートフォリオについて)
- 6、ブランドを立ち上げる……………半澤 廉樹氏 (1)
(自分をプロデュースするということ)
- 7、アクセサリーの知識……………大工原 瞳氏 (2)
(様々な素材からのアプローチ)
- 8、プロデュースの仕方……………内藤 純子氏 (2)
(クリエーターとプレスの現場での関わり)
- 9、ビジュアルマーチャンダイジング……………伊藤 淑恵氏 (4)
(マイコレクションにおける展示方法について)

評価方法・対象・比重

講義出席参加による評価 (100%)

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 各講師による資料

記載者書名欄

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務

科コード 12054 科名 ファッション高度専門士科 4年	単位 2・2単位
科目コード 945120、 科目名 インターンシップⅡa・b（選択） 945220	授業期間 通年

担当教員(代表)： 朴澤 明子

共同担当者：太田 るみ子

教育目標・レベル設定

将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。審査を受けて希望するデザイナーブランド企業・デザイン事務所・アパレルメーカー・テキスタイル企業・出版等関連企業も対象として実務体験をする。

授業概要

インターンシップⅡa・Ⅱb

- ・期間（基本は2週間）、時期は研修目的、受け入れ先の状況により決める。
- ・研修中は指導教員と定期的にミーティングを行い、受け入れ先での研修内容、進捗状況などを報告しアドバイスを受ける。

評価方法・対象・比重

2単位分、もしくは4単位分の出欠及び、レポート提出でP評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 朴澤 明子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054 科名 ファッション高度専門士科4年	単位 8単位
科目コード 970000 科目名 卒業研究・創作	授業期間 通年

担当教員(代表)：朴澤明子

共同担当者：太田 るみ子

教育目標・レベル設定

4年次の学生として既に習得してきたテクニックを更に追及する。そして自己の更なる可能性を発見し、クリエイティブなデザイン発想・オリジナリティを生かした表現でファッションクリエーションを考えマイコレクションに展開し制作する。集大成とし卒業制作ショー・展示にて各自表現する。

授業概要

- ・コンセプト組み立て→企画→デザイン発想→パターンメーキング作品制作→スタイリング→レポートのまとめにいたるまで、個性を生かした表現と個別の目的に応じたテクニックの育成をする。
- ・既に習得したものをさらに追及し、より深く研究するとともに自己の可能性を発見し、プライベートコレクションとしてクリエイティブなデザイン発想をする。また、個性を生かした表現、ファッション性へのこだわりを考える。コレクションは、作品制作8～10体を基準とする。
- ・企画、演出をはじめDM・ポスター・音響・照明・ヘアメイク・モデル・会場等トータルにまとめてショー及び展示として発表する。

評価方法・対象・比重

作品と、ショー、展示による総合演出（90%） プrezentation（10%）

主要教材図書 なし

参考図書

ファッション情報誌WWWD、コレクションビデオ 他

その他資料

各自テーマに基づいた参考図書

記載者書名欄 朴澤 明子